

令和 8 年度
公益財団法人神戸市民文化振興財団
事業概要

文化スポーツ局

目 次

I	神戸市民文化振興財団設立の趣旨	1
II	神戸市民文化振興財団の概要	
1	名 称	1
2	設 立 年 月 日	1
3	所 在 地	1
4	基 本 財 産	1
5	機 構	2
6	職 員 数	3
7	役 員 等	4
III	定 款	5
IV	令和7年度事業報告	
○ 項 目		11
1 概 要		12
2 事業の実施状況		15
3 令和7年度決算		
(1) 事業別収支計算書		40
(2) 正味財産増減計算書		41
(3) 貸借対照表		42
(4) 財産目録		43
(5) 事業別収入明細書		44
(6) 事業別支出明細書		45
(7) 財務状況の推移		46
V	令和8年度事業計画	
○ 項 目		47
1 概 要		48
2 事業計画		49
3 経営改善の取り組み		66
4 令和8年度予算		
(1) 事業別収支予算書		69
(2) 予定正味財産増減計算書		70
(3) 予定貸借対照表		71
(4) 事業別予定収入明細書		72
(5) 事業別予定支出明細書		73
VI	令和7年度主要事業計画・実績比較表	74
VII	主要事業の推移(令和3年度～令和7年度)	75

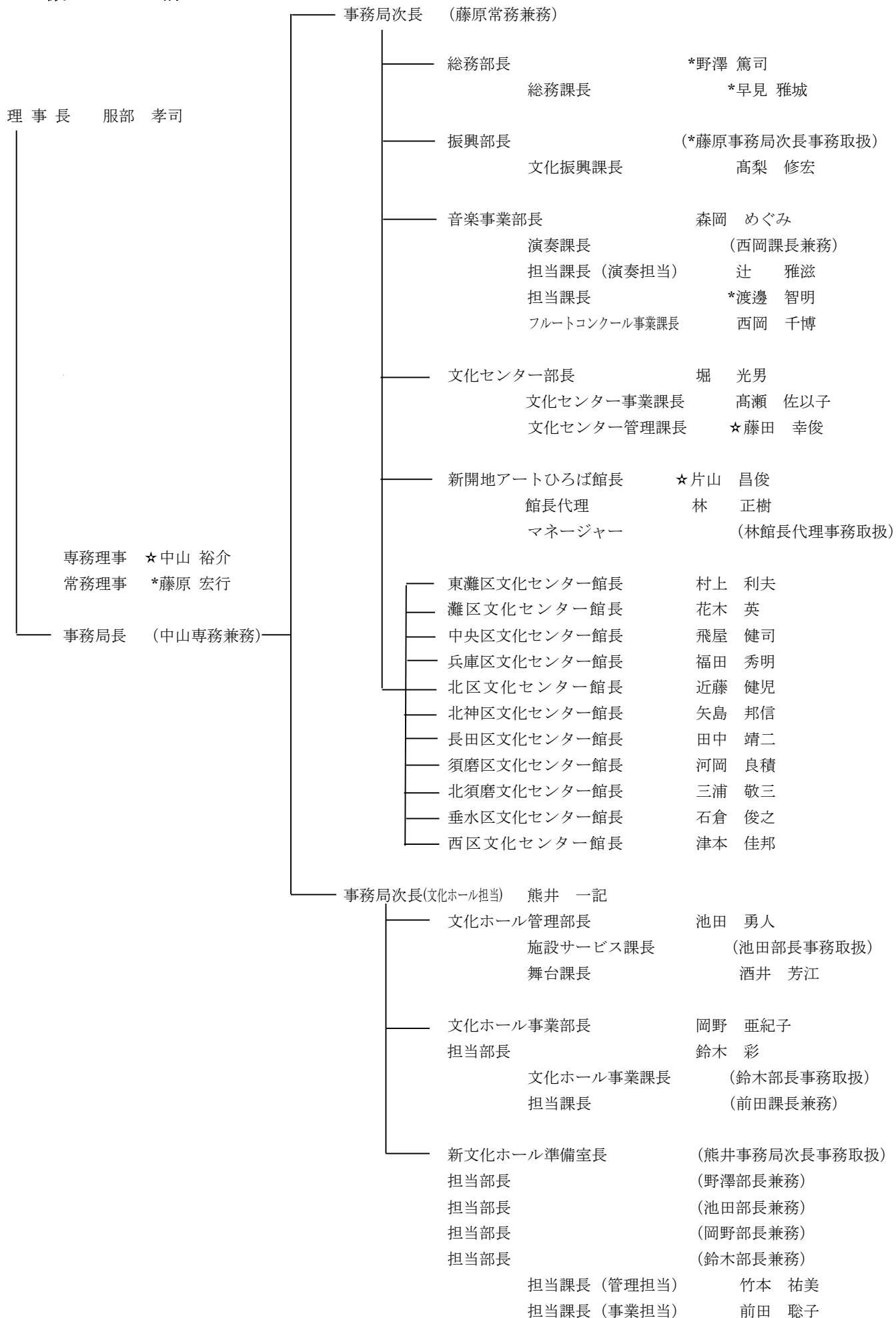
I 神戸市民文化振興財団設立の趣旨

心の豊かさを内包した生活の質向上を求めようとする市民の幅広い多様な文化的欲求に対応し、神戸文化を育て、自由な発想にもとづく文化活動の豊かな展開をすすめるため、神戸市民文化振興財団を設立したものである。

II 神戸市民文化振興財団の概要

1	名 称	公益財団法人 神戸市民文化振興財団		
2	設 立 年 月 日	設立許可	昭和 57 年 10 月 1 日	
		設立登記	昭和 57 年 10 月 1 日	
		公益財団法人移行登記	平成 24 年 4 月 1 日	
3	所 在 地	神戸市中央区楠町 4 丁目 2 番 2 号		
4	基 本 財 産	216,910 千円（神戸市出捐 100,000 千円 46.1%）		

5 機 構



(注) *は市派遣職員、★は市退職職員

6 職 員 数

(令和8年7月1日現在)

所 属	次 長・部 長 ・ 館 長	課 長	係 員	計
事 務 局	1			1
総 務 部	(1)	(1)	11	(13) 2)
振 興 部		1	3	4
音 楽 事 業 部	1	(3) 1)	10	(14) 1)
文化センター部	1	2	5	8
新 開 地 ア ー ト ひ ろ ば	2	0	11	13
東 灘 区 文 化 セ ン タ ー	1		2	3
灘 区 文 化 セ ン タ ー	1		1	2
中 央 区 文 化 セ ン タ ー	1		2	3
兵 庫 区 文 化 セ ン タ ー	1		1	2
北 区 文 化 セ ン タ ー	1		2	3
北 神 区 文 化 セ ン タ ー	1		1	2
長 田 区 文 化 セ ン タ ー	1		1	2
須 磨 区 文 化 セ ン タ ー	1		1	2
北 須 磨 文 化 セ ン タ ー	1		2	3
垂 水 区 文 化 セ ン タ ー	1			1
西 区 文 化 セ ン タ ー	1		2	3
文化ホール管理部	1	1	8	10
文化ホール事業部	2		5	7
新文化ホール準備室		2	1	3
合 計	20 (1)	10 (2)	69 (0)	99 (3)

※ () は、人数のうち、神戸市派遣職員数。

7 役 員 等

(1) 評議員

(令和8年7月1日現在)

役 職 名	氏 名	所 属
評 議 員	井 上 和 世	声楽家
評 議 員	小 野 愛 子	一般社団法人神戸市婦人団体協議会会長
評 議 員	佐 藤 友 美 子	学校法人追手門学院理事
評 議 員	玉 岡 か お る	作家
評 議 員	鳥 居 敬	一般社団法人神戸経済同友会代表幹事
評 議 員	古 屋 浩	日本放送協会神戸放送局局長
評 議 員	三 重 野 雅 文	神戸市文化スポーツ局長
評 議 員	矢 崎 和 彦	株式会社フェリシモ代表取締役社長
評 議 員	山 本 裕 之	神戸親和大学名誉教授

(2) 理事・監事

役 職 名	氏 名	所 属
理 事 長	服 部 孝 司	
専 務 理 事	中 山 裕 介	
常 務 理 事	藤 原 宏 行	(神戸市文化スポーツ局 部長)
理 事	伊 藤 紀 美 子	田嶋株式会社代表取締役社長
理 事	木 田 聖 子	株式会社チャイルドハート代表取締役社長
理 事	谷 口 賢 行	公益財団法人兵庫県芸術文化協会理事長
理 事	道 満 雅 彦	オリバーソース株式会社キャプテン (相談役)
理 事	藤 野 一 夫	神戸大学大学院国際文化学研究科名誉教授 兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学名誉教授
理 事	宮 本 慶 子	神戸芸術文化会議議長
理 事	や な ぎ み わ	現代美術作家
監 事	清 水 好 央	税理士
監 事	中 嶋 展 也	弁護士

Ⅲ 定 款

公益財団法人神戸市民文化振興財団定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人神戸市民文化振興財団と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を兵庫県神戸市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、神戸市民の文化活動の振興に資する事業を行い、もって個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 市民の生活文化活動及び芸術文化活動の振興
 - (2) 市民の国際文化交流の促進
 - (3) 市民文化の振興に係る情報の収集及び提供
 - (4) 文化施設の管理運営
 - (5) 神戸市室内管弦楽団及び神戸市混声合唱団の運営
 - (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項各号の事業は、兵庫県において行うものとする。

第3章 資産及び会計

(基本財産)

第5条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な別表の財産は、この法人の基本財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(事業年度)

第6条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第7条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長(第23条に規定する理事長をいう。以下同じ。)が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 正味財産増減計算書
 - (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書
 - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事並びに評議員の名簿

(3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類
(公益目的取得財産残額の算定)

第9条 理事長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則（平成19年内閣府令第68号）第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする

第4章 評議員

(評議員の定数)

第10条 この法人に評議員8名以上12名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第11条 評議員の選任及び解任は、評議員選定委員会（以下「委員会」という。）において行う。

2 委員会は、評議員1名、監事1名、事務局員1名、次項の定めに基づいて選任された外部委員2名の合計5名で構成する。

3 委員会の外部委員は、次のいずれにも該当しない者を理事会において選任する。

(1) この法人又は関連団体（主要な取引先及び重要な利害関係を有する団体を含む。以下同じ。）の業務を執行する者又は使用人

(2) 過去に前号に規定する者となったことがある者

(3) 第1号又は前号に該当する者の配偶者、3親等内の親族、使用人（過去に使用人となった者も含む。）

4 委員会に提出する評議員候補者は、理事会又は評議員会がそれぞれ推薦することができる。委員会の運営についての細則は、理事会において定める。

5 委員会に評議員候補者を推薦する場合には、次の事項のほか、当該候補者を評議員として適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。

(1) 当該候補者の経歴

(2) 当該候補者を候補者とした理由

(3) 当該候補者とこの法人及び役員等（理事、監事及び評議員）との関係

(4) 当該候補者の兼職状況

6 委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の1名以上が出席し、かつ、外部委員の1名以上が賛成することを要する。

7 委員会は、前条で定める評議員の定数を欠くこととなるときに備えて、補欠の評議員を選任することができる。

8 前項の場合には、委員会は、次の事項も併せて決定しなければならない。

(1) 当該候補者が補欠の評議員である旨

(2) 当該候補者を1名又は2名以上の特定の評議員の補欠の評議員として選任するときは、その旨及び当該特定の評議員の氏名

(3) 同一の評議員（2名以上の評議員の補欠として選任した場合にあっては、当該2名以上の評議員につき2名以上の補欠の評議員を選任するときは、当該補欠の評議員相互間の優先順位

9 第7項の補欠の評議員の選任に係る決議は、当該決議後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで、その効力を有する。

10 委員が委員会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる委員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の委員会の決議があったものとみなす。

(評議員の任期)

第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第13条 評議員に対して、各年度の総額が100万円を越えない範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 評議員には、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。この場合の支給基準については、評議員会の決議を経て、別に定める。

第5章 評議員会

(構成)

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第15条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任及び解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第16条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第17条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議長)

第18条 評議員会の議長は、評議員会において、出席した評議員の中から選出する。

(決議)

第19条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第23条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(決議の省略)

第20条 理事が評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案について議決に加わることのできる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第21条 理事が評議員の全員に対して評議員会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を評議員会に報告することを要しないことについて、評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その事項の評議員会への報告があったものとみなす。

(議事録)

第22条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び出席した評議員のうち評議員会において選出された2名が、前項の議事録に記名押印する。

第6章 役員

(役員の設置)

第23条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 8名以上12名以内

(2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を理事長とする。

3 理事長以外の理事のうち、1名を専務理事及び2名以内を常務理事とすることができる。

4 第2項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号。以下「一般法人法」という。）上の代表理事とし、前項の専務理事及び常務理事をもって一般法人法第197条において準用する一般法人法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員の選任)

第24条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第25条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、専務理事及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

3 理事長、専務理事及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第26条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員の任期)

第27条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員の解任)

第28条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員の報酬等)

第29条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 理事及び監事に対して、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。この場合の支給基準については、評議員会の決議を経て、別に定める。

(顧問)

第30条 この法人に、顧問を置くことができる。

2 顧問は、次の職務を行う。

(1) 理事長の相談に応じること

(2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること

3 顧問の選任及び解任は、理事会において決議する。

4 顧問は、無報酬とする。ただし、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。

第7章 理事会

(構成)

第31条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第32条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
 - (2) 理事の職務の執行の監督
 - (3) 理事長、専務理事及び常務理事の選定及び解職
- (招集)

第33条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第34条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般法人法第197条において準用する一般法人法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第35条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対して理事会に報告すべき事項を通知した場合は、その事項を理事会に報告することを要しない。

2 前項の規定は、第25条第3項の規定による報告には適用しない。

(議事録)

第36条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第37条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条、第4条及び第11条についても適用する。

(解散)

第38条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第39条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（平成18年法律第49号。以下「認定法」という。）

第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第40条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第41条 この法人の公告は、電子公告により行う。

2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法による。

附 則

1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号。以下「整備法」

という。) 第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

2 整備法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

3 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

石 阪 春 生
井 上 和 世
大 谷 幸 正
加 藤 隆 久
下 村 俊 子
妹 尾 美智子
津 村 正 男
長 崎 泰 裕
新 野 幸次郎
板 東 慧
湯 浅 叡 子

4 この法人の設立の登記の日に就任する理事は、次に掲げる者とする。

辻 村 博 邦
山 上 正 輝
榊 原 均
植 松 奎 二
栗 原 慶 子
藤 野 一 夫
難 波 裕 子
山 田 弘

5 この法人の最初の理事長は 辻村 博邦、専務理事は 山上 正輝、常務理事は 榊原均とする。

6 この法人の設立の登記の日に就任する監事は、次に掲げる者とする。

清 水 好 央
水 嶋 輝 雄

附 則

1 この定款は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

1 この定款は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

1 この定款は、令和4年10月14日から施行する。

別表 基本財産（第5条関係）

財産種別	物量等
投資有価証券等	216,910,000 円

IV 令和7年度事業報告

項目

●主な事業内容

- 第11回神戸国際フルートコンクール
- KOBE 国際音楽祭 2025
- 神戸文化ホール開館50周年記念事業

●公益目的事業

- 文化ホール
 - 1 公演事業
 - 2 演奏事業（神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団）
 - 3 文化振興事業
 - 4 フルートコンクール事業
 - 5 情報発信（公益目的事業共通）
 - 6 貸館・管理事業
 - 7 新文化ホール準備事業
- 新開地アートひろば
 - 1 新開地アートひろば事業
 - 2 貸館・管理事業
- 各区文化センター
 - 1 講座・地域連携事業
 - 2 演奏事業（神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団）
 - 3 文化振興事業
 - 4 情報発信
 - 5 貸館・管理事業

●収益事業

- 神戸文化ホール貸館・管理事業
- 新開地アートひろば貸館・管理事業
- 文化センター講座・地域連携事業
- 文化センター貸館・管理事業

●法人管理運営事業

●指定管理施設利用実績

●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

●令和7年度決算

1 概 要

4年に1度となる「第11回神戸国際フルートコンクール」を開催するとともに、本コンクールを核とした「KOBE 国際音楽祭 2025」を開催し、世界的なアーティストから、地元音楽家や中高生まで多様な公演が展開され、多くの来場者に音楽に触れる機会を提供した。

また、最終年となる「神戸文化ホール開館 50 周年記念事業」では、神戸ゆかりの森山未来氏が出演するダンス公演「ポスト舞踏派『魔笛』」や神戸文化ホールプロデュースによる舞台作品「流々転々 KOBE1942-1946」など、神戸の文化的魅力を発信する特別企画を実施し、節目の年を象徴する充実したプログラムを展開した。

【主な事業内容】

（1）第11回神戸国際フルートコンクール

第11回大会は、過去2番目の応募者数となる世界41の国と地域から357名の応募があり、予備審査を通過した本選出場者39名（出場辞退1名を除く）が神戸に集い、9日間に渡って熱演を繰り広げた。

審査は国際的に著名なフルーティストによって厳正に行われ、第1位にはリカルド・チェラッキ氏とファビアン・ヨハネス・エッガー氏の2名が選ばれた。

事業運営にあたっては、8大学から延べ135名の大学生インターンシップ参加者が協力し、円滑な進行および来場者対応等に貢献した。



＜出場者アウトリーチプログラム＞

本選出場者のうち、惜しくも第2次審査に進むことができなかった27名の出場者へ希望を募り、神戸市内の小学校、高等学校、サテライト会場にてアウトリーチ公演を実施した。

出場者の参加数は第9回大会の倍以上の数となり（7名→17名）、国際色豊かな公演となった。



（2）KOBE 国際音楽祭 2025

「第11回神戸国際フルートコンクール」を核とした音楽祭を、7月12日から9月14日の間に神戸市・日本フルート協会と共に開催。世界的なアーティスト、新進気鋭の奏者、地元神戸の演奏家、そしてコンクールに出場するフルーティスト、地元の中高生や音楽団体なども参加。公立・民間の枠を超えた神戸中の劇場、街中など神戸のいたるところで、約200の公演を実施し、プレイベントを合わせると約50,000人の来場者数を記録した。

当財団では、文化ホールだけでなく市内の民間ホールのご協力もいただき、世界的奏者から新進気鋭のアーティストまで、多彩な顔ぶれによる質の高い公演企画や、社会包摂企画、コンクール審査員による公演や出場者によるアウトリーチを実施した。

<エマニュエル・パユ プロデュース KOBE 国際音楽祭 2025 オープニング・コンサート>



第2回神戸国際フルートコンクール1位受賞者で、世界トップクラスのソリストとしての人気を誇るエマニュエル・パユ（ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 首席フルート奏者）と神戸市室内管弦楽団が共演し、オープニング・コンサートを実施した。また、指揮者はパユの指名により、ベルリン・フィルの首席クラリネット奏者から指揮者に転身した逸材であるアンドレアス・オッテンザマーが出演した。

コンサート内では、近年の本コンクール日本人入賞者による演奏コーナーを設けるなど、パユ自身の神戸国際フルートコンクールへの想いと心づくしが光った企画であり、公演中には「第二の我が家に帰ってきた感覚。神戸は自分にとっての大きな分岐点となった。コンクールの存在は世界に発信できるもので、神戸はもっと誇りにしてほしい。」と思いを語った。

（3）神戸文化ホール開館50周年記念事業

昭和48年10月に開館した神戸文化ホールは、令和5年に開館50周年という大きな節目の年を迎え、50年間、神戸市民と共に文化創造に取り組み、発信し続けてきた。これからも、個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与すべく、令和5年度より「神戸文化ホール開館50周年記念事業」を3年間に渡り行った。



【令和7年度（2025年度）テーマ 人間讃歌】

6月21日（土）	ウェルカムジャンボリー2025
7月5日（土）	ダンス公演 ポスト舞踏派「魔笛」
8月2日（土）・3日（日）	めにみえない みみにしたい
11月15日（土）	ベートーヴェン・ダブルビル
11月16日（日）	合同定期演奏会「ミサ・ソレムニス」
	ベートーヴェン・ダブルビル
	室内管弦楽団 第170回定期「第九」
2月14日（土）・15日（日）	流々転々 KOBE1942-1946

<神戸文化ホール「ウェルカムジャンボリー2025」>

絵本コンサートや、マイムと音楽のパレードパフォーマンス、マイムのワークショップ、大倉山公園でのマルシェなど、世代や背景を問わず楽しめるバリアフリーな催しを複数展開。こども本の森 神戸との連携イベントも実施し、地域の回遊性を高めた。多様な人々が芸術を通じて交わる場として、新たなつながりと希望を生み出す事業となった。



<ダンス公演 ポスト舞踏派「魔笛」>

KOBE 国際音楽祭 2025 のプレ企画として、古くから親しまれるモーツァルト作曲「魔笛」をベースに、独自の舞踊表現を切り開く笠井叡が創作したコンテンポラリーダンス作品を上演。神戸ゆかりの森山未来ほか、第一線で活躍するダンサーが出演し、クラシック音楽とコンテンポラリーダンスの融合に挑んだ。SNSを中心に幅広い層へ訴求し、先進的かつ地域性のある舞台芸術体験を提供した。



<めにみえない みみにしたい>

KOBE 国際音楽祭 2025 の一環として、演劇作家・藤田貴大（マームとジプシー）が、音楽の原田郁子、衣装の suzuki takayuki ら多彩なクリエイターと創作した子ども向け演劇を新開地アートひろばで上演し、両日とも満席。子どもから大人まで多世代に創造性豊かな舞台芸術鑑賞機会を提供し、多ジャンルの魅力を活かし新たな観客層を開拓することができた。また、地元アーティスト森本アリによる音あそびワークショップを文化ホール内で実施し、創造性に富んだ芸術体験を地域に届けた。



<ベートーヴェン・ダブルビル>

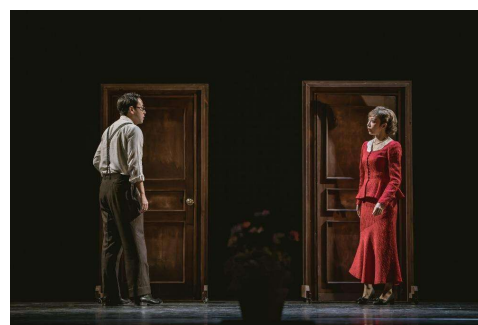
神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団の合同企画・50 周年記念事業最終企画として、ベートーヴェンの二大傑作《ミサ・ソレムニス》と《第九》の二日連続公演を実施した。

本公演においては、プロ管弦楽団・合唱団を有するホールとしての強みを存分に発揮し、また、国内での演奏機会が少ない「ミサ・ソレムニス」と、それと同時期に作曲された「第九」を二日連続で演奏することで、それぞれの曲に対する理解を聴衆と共に一層深める企画となった。



<流々転々 KOBE1942-1946>

開館 50 周年記念シリーズの掉尾を飾る自主プロデュース公演として、西東三鬼『神戸・続神戸』を原作に、戦時下の神戸を描くオリジナル演劇作品を創作・上演。東京・関西のアーティストが協働し、神戸でのリサーチやワークショップ、滞在制作を重ねながら、「神戸で創る」を体現する創作プロセスを展開した。劇場が「上演の場」ととどまらず創作主体となり、地域に根差した作品を丁寧なプロセスで生み出した画期的で創造的な取り組みを行った。



2 事業の実施状況

公益目的事業

(1) 文化ホール

① 文化ホール公演事業

ア 事業方針

- ・市民の誇りとなるような神戸発の創造発信事業や、先進的な取り組みを行っている優れた文化施設・芸術団体等と連携した作品群を展開する 【創造発信・情報事業】
- ・文化芸術の普及拠点として誰もが舞台芸術に触れる機会を提供するとともに、神戸の街や市民と交流する文化芸術ネットワークを形成する 【普及啓発・交流事業】
- ・全国の劇場や教育機関と連携して文化芸術の次世代の担い手を育成し、神戸における創造活動の持続可能性を高めていく 【育成・支援事業】

イ 事業内容

(ア) 創造発信・情報事業

開館 50 周年記念シリーズの掉尾を飾る自主プロデュース公演として、『流々転々 KOBE1942-1946』を創作・上演。西東三鬼『神戸・続神戸』を原作に、神戸でのリサーチや滞在制作を重ねながら「神戸で創る」を体現する創作プロセスを展開した。劇場が「上演の場」にとどまらず創作主体となり、地域に根差した作品を生み出す画期的で創造的な取り組みを行った。

また、KOBЕ 国際音楽祭 2025 のプレ企画として『ポスト舞踏派「魔笛」』を上演。森山未来ら第一線のダンサーが出演し、クラシック音楽とコンテンポラリーダンスの融合に挑んだ。SNS を中心に幅広い層へ訴求し、先進的かつ地域性のある舞台芸術体験を提供した。

(イ) 普及啓発・交流事業

大阪・関西万博オランダ王国公式プログラムとして、インテグレイテッドダンス公演「UNUM」&「Iungo」を共催事業として実施。障がいや年齢を超えた多世代による共創を通じ、芸術の多様性と社会包摂の理念を発信した。

「こどもコブホ 2025」シリーズでは、「神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2025」や、演劇作品『めにみえない みみにしたい』を実施。親子連れを中心に多世代が来場し、創造性豊かな舞台芸術体験を提供した。

また、1974 年から続く市内小学生招待事業「こころの劇場」では、劇団四季ファミリーミュージカル『王子と少年』を上演。子どもたちに感動と心の成長のきっかけを届けた。



(ウ) 育成・支援事業

劇場が自ら専門人材を育成するという劇場法の趣旨に則り、「アートマネジメント人材養成講座」を全 3 回開催。「劇場・音楽堂等と社会との繋がり」「アートが生み出すコミュニティ〈場〉」「地域と関わるアート活動から考える社会包摂」をテーマに、専門家を講師に招き、参加者と実践的な知見の共有を図った。あわせて、大学生等を対象としたインターンシップを実施し、公演制作や広報、運営現場での実務経験の機会を提供した。

また、舞台映像上映事業「Re ライブシアター」を実施し、演劇鑑賞経験の少ない層を含む新たな観客との接点を創出し、舞台映像を活用した新たな芸術体験の可能性を探るとともに、上映環境や映像活用に関する知見の蓄積を進めた。

(エ) 文化ホール公演事業の情報発信

情報誌「ほーるめいと」を5年ぶりにリニューアル。隔月・年6回発行し、自主事業や公演情報を、市内文化施設・図書館・主要駅等を通じて広く発信した。あわせて、創作背景や劇場独自の企画、制作レポート等を掲載する機関誌「別冊ほーるめいと」を新たに創刊し、年度内に2号を発行。劇場の創造活動や特色をより深く伝える広報機能の強化に取り組んだ。メールマガジンやSNS、WEB等も活用し、創作過程や関連企画を含めた継続的な情報発信を行った。



項目	回数	発行部数	備 考
神戸文化ホール情報誌 「ほーるめいと」	6	15,000 部／ 隔月	神戸文化ホールで開催される自主事業や公演情報を掲載する広報誌。令和7年度に5年ぶりとなる誌面リニューアルを実施し、チケット販売促進に向けた事前広報を中心に、公演情報をわかりやすく伝える構成へ刷新。
神戸文化ホール機関誌 「別冊ほーるめいと」	2	10,000 部／ 各号	劇場独自の特集記事や制作レポート、アーティストインタビュー等を掲載する機関誌型広報誌として令和7年度に創刊。創作背景や劇場の取り組みをより深く発信し、劇場の創造活動への理解促進を図った。

ウ 文化ホール公演事業実績

〈事業別〉

	事業数	公演数	入場者数
創造発信・情報事業	5	8	6,922
普及啓発・交流事業	11	25	20,304
育成・支援事業	3	8	586
合 計	19	41	27,812

〈部門別〉

	事業数	公演数	入場者数	備 考
音 楽	3	3	4,747	ファミリーショー1 合唱1 和太鼓1
舞 踊	4	6	5,384	バレエ2 現代舞踊1 舞踏1
演 劇	5	18	15,711	演劇4 ミュージカル1
演 芸	1	2	935	落語1
その他	6	12	1,035	能1 その他5
合 計	19	41	27,812	

文化ホール公演事業実績（部門別内訳）

（単位：人）

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
創造発信・情報事業		5事業7公演1企画			6,922
	ダンス公演 ポスト舞踏派『魔笛』	7/5	1	神戸文化ホール 中ホール	731
	第7回バレエカンパニーウエストジャパン「Be Creative！」	11/9	1	神戸文化ホール 中ホール	768
	貞松・浜田バレエ団 クリスマス特別公演 『くるみ割り人形』全幕 お菓子の国ver. & お伽の国ver.	12/20～21	2	神戸文化ホール 大ホール	3,306
	『流々転々 KOBE1942-1946』	2/14～15	3	神戸文化ホール 中ホール	2,117
	情報誌「ほーるめいと」	発売情報誌：年6回発行 機関誌：年2回発行			
普及啓発・交流事業		11事業22公演3企画			20,304
	唐組 第75回公演「紙芝居の絵の町で」	4/18～20	3	湊川公園 特設紅テント	714
	大阪・関西万博 オランダ王国公式プログラム オランダ・日本共同インテグレイテッドダンス公演 「UNUM」 & 「Iungo」	5/24・5/25	2	神戸文化ホール 中ホール	579
	こどもコブホ2025 神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2025 連携イベント	5月下旬	1	こども本の森 神戸	64
	こどもコブホ2025 神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2025	6/21	1	神戸文化ホール 大ホールほか	1,566
	神戸文化ホール&新開地アートひろば連携公演 こどもコブホ2025「めにみえない みみにしたい」 関連企画「めとみみとおとであそぼう」	7/24・7/25	2	神戸文化ホール リハーサル室	17
	神戸文化ホール&新開地アートひろば連携公演 こどもコブホ2025「めにみえない みみにしたい」	8/2・8/3	2	新開地アートひろば	205
	第49回 東西落語名人選	9/27	2	神戸文化ホール 中ホール	935
	和太鼓松村組 ー神戸公演2025ー 30周年記念公演 響縁 KYOEN ～和と音の未来へ～	10/25	1	神戸文化ホール 大ホール	1,049
	劇団四季こころの劇場 神戸公演	12/2～5	8	神戸文化ホール 大ホール	12,658
	SING FROM KOBE PRAY FROM KOBE ～明日につなげるコンサート～	1/17・1/18	2	神戸文化ホール 大ホール、中ホール	2,132
	第十八回 神戸能	3/20	1	神戸文化ホール 中ホール	385
育成・支援事業		3事業2公演6企画			586
	舞台映像上映 Reライブシアター 『ムサシ』/『奇ッ怪小泉八雲から聞いた話』	11/29	2	神戸文化ホール 中ホール	305
	アートマネジメント人材養成講座 アートマネジメント講座	9月～11月	3	中央区文化センター	121
	アートマネジメント人材養成講座 連携大学インターンシップ	6月～2月	1	神戸文化ホール等	157
	芸術文化観光専門職大学 臨地実務実習（劇場プロデュース実習）	夏季／冬季	2	神戸文化ホール等	3
神戸文化ホール事業合計		19事業31公演10企画			27,812

② 演奏事業（神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団）

ア 事業方針

- ・神戸文化ホールにおける質の高い演奏の提供
- ・広報強化、アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ・自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

イ 事業内容

（ア）定期演奏会等の取り組み

全国の自治体で唯一、ホール専属の神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団を保有・運営している強みを活かし、両団の総力を結集した大曲に取り組んだ。

また、誰もがリラックスして鑑賞・参加ができる音楽鑑賞の場づくりとして、「こどもコンサート」を引き続き実施するなど、普及啓発や社会包摂事業の充実を図ったほか、令和6年能登半島地震で被災された方々への慰問として、神戸文化マザーポートクラブとの共催により、石川県珠洲市へ神戸市混声合唱団を派遣し、復興支援コンサートを実施した。

（イ）教育普及に関する取り組み

次代を担う子ども達に対する音楽鑑賞機会の提供のため、市立小学校に通う児童を対象とした「インリーチ事業」「アウトリーチ事業」に引き続き取り組んだ。

令和7年度からは新たに、インリーチ事業の公演会場として文化センターを追加し、アウトリーチ事業では、市立特別支援学校を対象に、出張演奏を行った。



（ウ）依頼公演獲得に関する取り組み

市内外における依頼公演への出演を通じて、神戸市の魅力発信に資するシティプロモーションを実施した。大阪城ホールでは「トップガン マーヴェリック シネマコンサート」に出演、神戸市内では定例の依頼公演に加え、旧ハンター邸クロージングイベントに出演した。



（エ）楽団・合唱団の周知・魅力発信の取り組み

両団の定期演奏会を1年間のセットで聴くことができる「定期会員制度」の募集にあたっては、サービス内容を強化し、安定した固定客層の獲得を目指すために当初の申込期間を約1か月延長する対応をとった。

また引き続き、効果的な広告出稿、SNSの発信の工夫、記者懇談会の開催などで効果的な広報を展開するほか、他の施設・団体等からの公演依頼や企業支援の獲得等に積極的に取り組み、市内外問わずより幅広く認知され、愛される団の運営を目指す取り組みを実施した。

【令和7年度公演数・入場者数】

	自主公演	インリーチ アウトリーチ	依頼公演	合計
公演数	18	14	44	76
入場者数	6,667	6,744	29,594	43,005

ウ 演奏事業実績

【自主公演】

(単位：人)

事業名	開 催 時 期	開 催 場 所	入場者数
神戸市室内管弦楽団	4/19	神戸文化ホール（大）	460
	6/7	神戸文化ホール（大）	460
	9/20	神戸文化ホール（大）	365
	11/16	神戸文化ホール（大）	842
	3/7	神戸文化ホール（大）	701
	セレクション Vol.7「小菅優・最前線 in KOBE」	うはらホール	322
	セレクション Vol.8「変な!?ニューイヤーコンサート」	ピフレホール	235
	図書館アウトリーチ	三宮図書館	30
神戸市混声合唱団	ファミリーコンサート	中央区文化センター	102
	合唱コンクール課題曲コンサート	神戸文化ホール（大）	343
	あなたに贈るコンサート 「ざくっとメサイア」	ピフレホール	180
	KOBE国際音楽祭2025 まちなかコンサート	Duo ドーム	100
	あなたに贈るコンサート 「Viva! Christmas」	うはらホール	175
	日本のうた	西神中央ホール	357
	定期演奏会	9/14 神戸文化ホール（大）	400
		3/14 神戸文化ホール（大）	507
合同	こどもコンサート	8/3 神戸文化ホール（大）	506
	合同定期演奏会 ※神戸文化ホール50周年記念事業	11/15 神戸文化ホール（大）	582
演奏事業合計			6,667

【依頼公演】 ※インリーチ・アウトリーチ含む

	公演数	入場者数
神戸市室内管弦楽団	14	11,640
神戸市混声合唱団	19	12,934
合同	25	11,764
合計		36,338

③ 文化振興事業

ア 事業方針

- ・芸術文化による神戸ブランドの発信
- ・地元アーティスト・団体の芸術文化活動のサポート
- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み
- ・次世代の芸術文化の担い手や支え手の育成

イ 事業内容

(ア) 芸術文化による神戸ブランドの創造発信

「ジャズの街神戸」推進協議会の活動として、「神戸ユースジャズオーケストラ」の運営をはじめ、『神戸ジャズの日』記念イベントや、公式ウェブサイト「JAZZ TOWN KOBE」等を通じ、神戸のジャズに関する情報を集約し、発信を行った。また、新たに SNS 広告を活用した情報発信を行い、「JAZZ TOWN KOBE」の認知拡大と新たな閲覧者層への周知強化を図った。



また、神戸を代表するジャズイベント「神戸ジャズストリート」、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」や神戸ジャズ 100 周年を機にスタートした「Kobe Jazz Centennial」を支援することで、ジャズの魅力発信・普及啓発を図った。

(イ) 情報収集・提供の充実

地元のアーティスト等を対象に、「こうべ文化芸術相談窓口」を設置し、文化芸術活動に関する相談（資金調達、活動拠点、広報等）に対し、専門家等と連携し助言等を実施。また、アーティスト向けのセミナーや、文化センターとの連携事業など、学びや交流機会の提供、新たな活動機会の創出を積極的に行った。

＜令和 7 年度実績＞

- ・相談件数 53 件、相談受信件数 560 件、メルマガ配信 15 回
- ・関連事業 セミナー 2 回、交流会 2 回、ワークショップ事業 1 回

補助金・助成金情報	広報・後援等	活動拠点	事業計画	資金計画
16	17	15	11	6
教室・講座	パートナー探し	その他	合計	
9	8	7	89	

※1 件の相談につき相談内容が複数あるため、相談件数とは一致しない。

(ウ) 市民参加型芸術文化事業の充実支援

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「神戸市吹奏楽祭」「洋舞コンクール」「神戸からのしらべ」「神劇まわり舞台」「シャンソン・ポピュレールコンクール」等の事業を行った。

(エ) 地元芸術文化団体との連携強化及び若手芸術家の発掘・育成支援

地元芸術文化団体の活動を支援するとともに、神戸芸術文化会議との連携により、文化ホールのワンコインコンサートや、各区文化センターを活用した事業を行った。また、「神戸市吹奏楽祭」、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」等を通じて今後の神戸文化の担い手となる若手人材の発掘や育成を支援した。

また、神戸市が令和 6 年度から開始した「KOBE まちなかパフォーマンス」の事務局として、アーティストの新たな活動機会と、市民が様々な文化芸術やエンターテインメントに気軽に触れられる機会の両方を創出し、まちの賑わいや魅力向上につなげた。これらの取り組みを通じて、アーティスト情報の蓄積や会場管理者との関係性構築を図り、地域と連携したにぎわい創出に取り組んだ。

ウ 文化振興事業実績

(単位：人)

事業名		開催時期	開催場所	入場者数
音楽	「ジャズの街神戸」発信事業	4月～3月	SMBC神戸営業部前 他	1,493
	神戸市吹奏楽祭	4/29, 11/3	神戸文化ホール	6,972
	全日本シャンソン・ポピュラーコンクール	神戸大会9/20 ※この他全国4ヶ所で 地区大会を開催	ピフレホール	394
		ファイナル12/6	神戸文化ホール	
	神戸三曲協会演奏会等	6/8, 3/15	神戸文化ホール 他	715
	室内楽名曲シリーズ	10/27	神戸文化ホール	449
	神戸ジャズ道場	7/31～8/1	神戸セミナーハウス	104
	JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8/15～8/17	神戸文化ホール	2,854
	神戸フィルハーモニック定期演奏会等	6/30, 10/13, 1/11	神戸文化ホール	2,094
	神戸ジャズストリート	10/11・12	北野界限9会場	3,000
	Kobe Jazz Centennial	10/13	三宮・旧居留地周辺7会場	9,000
	NEW YEAR CONCERT	1/10	中央区文化センター	150
	第3回 出演：辰野翼（ピアノ）、松井るみ（ソプラノ）	6/5	神戸文化ホール	711
	第4回 出演：宮本慶子（マリンバ）、坂本恵子（ピアノ）	10/1	神戸文化ホール 中ホール	797
	第5回 出演：芹澤佳司（ピアノ）、芹澤文美（ピアノ）	12/10	神戸文化ホール 中ホール	665
	第6回 出演：佐野えり子（ピアノ）、佐野まり子（ピアノ）	3/24	神戸文化ホール 中ホール	786
	ピアノ（ペーゼンドルファー）公開レッスン （講師：久元 祐子）	3/24	神戸文化ホール 中ホール	164
演劇 舞踊	神劇まわり舞台	4月～3月	市内各所	1,295
	こうべ全国洋舞コンクール	5/3～5/6	神戸文化ホール	1,902
他	こうべ文化芸術相談窓口 勉強会&交流会「企画を実現させる5つのコツ」	11月8日	中央区文化センター	17
	こうべ文化芸術相談窓口 ワークショップ「はじめてのヘルマンハーブ体」	12月7日	中央区文化センター	12
	こうべ文化芸術相談窓口 ワークショップ「日本の伝統に触れる ミニ畳」	2月21日	須磨区文化センター	10
	こうべ文化芸術相談窓口 勉強会「資金調達・クラウドファンディング講義」	3月5日	中央区文化センター	33
	こうべ文化芸術相談窓口 えほんづくりワークショップ	3月14日	長田区文化センター	12
	KOBE◆KATSU 運営者向け説明会	6月17日・20日	長田区文化センター別館 ピフレホール	214
	KOBE◆KATSU 吹奏楽クラブ向け講習会	2月4日・5日	中央区文化センター	33
	KOBE◆KATSU 合唱クラブ向け講習会	2月26日・27日	中央区文化センター	13
	文化振興事業合計			33,889

受託事業

	事業名	開催時期	開催場所	登録アーティスト
	KOBE まちなかパフォーマンス（バスキング型）運営 事務局業務 〈試行実施〉 実施回数：計4回 実施日：令和7年5月21日（水）、6月14日（土）、7月24日（木）、11月30日（日） 〈本実施〉 実施期間：令和7年4月1日（火）～令和8年3月31日（火） 実施回数：477回（3時間での開催：3回、2時間での開催：374回、1時間での開催：100回） 〈神戸まつり及び同時開催イベント〉 実施日：令和7年5月18日（日） 出演者数：23組（うち4組がキャンセル） 〈お披露目イベント〉 実施日：1日目 令和8年3月19日（木）17:30～20:30 2日目 令和8年3月20日（木）17:30～20:30 出演者数：14組	4/1～3/31	神戸市内各所	73組

（単位：人）

神戸芸術文化会議連携事業		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
ベーゼンドルファー・コンサート・シリーズ ランチタイム・ワンコインコンサート					
第3回	出演：辰野翼（ピアノ）、松井るみ（ソプラノ）	6/5	1	神戸文化ホール 中ホール	711
第4回	出演：宮本慶子（マリンバ）、坂本恵子（ピアノ）	10/1	1		797
第5回	出演：芹澤佳司（ピアノ）、芹澤文美（ピアノ）	12/10	1		665
第6回	出演：佐野えり子（ピアノ）、佐野まり子（ピアノ）	3/24	1		786
神戸芸術文化会議連携事業合計			1事業4公演		2,959

④ フルートコンクール事業

ア 事業方針

- ・有望な若きフルーティストを世界の楽壇に飛翔させる
- ・音楽を通じて国際交流と友好親善を図る
- ・「音楽のまち神戸」として文化の香り豊かなまちづくりを推進する

イ 事業内容

（ア）KOBE 国際音楽祭、神戸国際フルートコンクール関連事業の開催

KOBE 国際音楽祭の開催に加え、令和8年2月7日には、第6回神戸国際フルートコンクールで入賞を果たした高木綾子氏のデビュー25周年記念リサイタルを開催した。また、令和6年度に実施した社会包摂事業（音楽交流プログラム）の発展企画も音楽祭の一環として実施した。



（イ）情報発信の取り組み

神戸国際フルートコンクール及び関連事業の情報を以下の常設アカウントにて発信し、多くの方に興味を持っていただいた。

○SNS フォロワー数(令和 8 年 3 月末時点)

Facebook	Instagram	X
3, 055	2, 451	399

※アカウント開設順に記載

○YouTube での配信

コンクールの全審査(1 次～本選)のライブ配信・アーカイブ配信を行った。

※本選・現代作品はライブ配信のみ

チャンネル登録者数：4, 690 名

令和 7 年度 U P 動画総再生回数(ライブ配信を含む)：91, 271 回再生

ウ フルートコンクール事業実績

事業名	開催時期	回数	開催場所	入場者数
[プレ企画]第2回日本フルートフェスティバルin兵庫	7/6	1	神戸文化ホール(大)	300
エマニュエル・パユ プロデュース KOBE国際音楽祭 2025オープニング・コンサート	7/12	1	神戸文化ホール(大)	1, 234
夏の昼下がりコンサート 荘村清志(ギター)&工藤重典(フルート)デュオリサイタル	7/17	1	西神中央ホール	458
障がいのある子どもたちのためのコンサート	7/19	1	賀川記念館	20
テレマン室内オーケストラ J.S. バッハ「ブランデンブルク協奏曲」全曲演奏会	7/19	1	神戸朝日ホール	459
音楽風刺劇 オスベダーレ(演奏会形式/イタリア語上演・字幕付き)	7/26	1	神戸新聞松方ホール	284
真夏の打楽器アンサンブル 神戸パーカッション・ギャラリー ～菅原淳アレンジ・コレクションvol.8～	8/11	1	神戸文化ホール(中)	458
発酵(はっこう)する古楽～柴田俊幸(フラウト・トラヴェルソ)&アンソニー・ロマニウク(鍵盤)ライブ～	8/23	1	酒心館	142
第22回日本フルートコンヴェンション in KOBE 2025 ファイナルコンサート	8/24	1	神戸文化ホール(大)	952
第11回神戸国際フルートコンクール 第1次審査	8/29-9/2	4	神戸文化ホール(中)	483
第11回神戸国際フルートコンクール 第2次審査	9/4	1	神戸文化ホール(中)	238
第11回神戸国際フルートコンク第11回神戸国際フルート コンクール スペシャルナイト・ガラ	9/5	1	神戸文化ホール(大)	623
第11回神戸国際フルートコンクール出場者アウトリーチ	9/5	5	市内学校等	950
第11回神戸国際フルートコンクール 本選・表彰式	9/6	1	神戸文化ホール(中)	431
第11回神戸国際フルートコンクール 入賞者披露演奏会	9/7	1	神戸文化ホール(中)	358
ストラディヴァリウス・コンサート2025 ティモシー・ チューイ(ヴァイオリン)&上野通明(チェロ)	9/13	1	神戸文化ホール(中)	634
社会包摂企画 フルーティストによる音楽交流プログラム1	7/1	1	神戸文化ホール練習室(神戸市立湊翔南中学校特別支援学級)	23
社会包摂企画 フルーティストによる音楽交流プログラム2	8/20	1	特別養護老人ホーム六甲の館	20
社会包摂企画 フルーティストによる音楽交流プログラム3	9/29	1	特別養護老人ホーム長田すみれ園	55
社会包摂企画 フルーティストによる音楽交流プログラム4	10/22	1	こべっこランド(神戸市立児童福祉センター)	73
高木綾子デビュー25周年記念リサイタル	2/7	1	神戸文化ホール(中)	469
		28	事業合計	8, 664

⑤ 情報発信（公益目的事業共通）

ア インターネットによる情報発信

X（エックス）や Facebook、Instagram など多様な SNS を活用した情報発信に積極的に取り組むとともに、動画共有サイト等による事業広報を展開した。（SNS フォロワー数：28,967 人）

イ 「神戸 C 情報」の発信

神戸を中心とした文化芸術イベント情報をウェブサイトや SNS で広く発信。相談窓口やアーティスト支援事業と連携し、文化芸術に関する情報プラットフォーム形成を図った。

⑥ 貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ・施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ・文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ・基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

イ 事業内容

（ア）弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

貸館利用者のニーズに応じた弾力的な運用を継続した。また、舞台スタッフによる専門性の高い舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営で利用者をサポートした。

（イ）施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営

利用後のアンケート等でいただいたご意見・ご要望をもとに改善に努めた。

（ウ）文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援、広域からのホール利用の促進

抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続した。

（エ）基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

神戸市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行なった。

また、キャッシュレス決済や、ホールでのインターネット環境を整備、スマートゲートの導入により利便性の高いサービスと設備を提供した。

ウ 神戸文化ホール貸館・管理事業実績

		大ホール	中ホール	練習場	合 計
利用件数(件)		254	260	3,183	3,697
入場者数(人)		214,240	103,581	42,674	360,495
利用率 (%)	踏入率	84.6	84.5	94.5	
	実利用率	74.9	74.1	74.8	

① 神戸文化ホール利用状況表（自主事業を含む） ※収益事業を含む

令和7年4月1日～令和8年3月31日

		大ホール		中ホール		合 計	
部門	内 訳	利用件数(件)	入場者数(人)	利用件数(件)	入場者数(人)	利用件数(件)	入場者数(人)
音楽	クラシック	136	79,437	74	28,052	210	107,489
	ポピュラー	11	19,045	10	5,363	21	24,408
	邦楽	8	9,117	17	7,187	25	16,304
	小 計	155	107,599	101	40,602	256	148,201
舞踊	舞踊等	26	21,877	59	20,630	85	42,507
演劇	演劇	2	1,327	24	10,902	26	12,229
	音楽劇	11	21,341	0	0	11	21,341
	小 計	13	22,668	24	10,902	37	33,570
演芸等	演芸・映画	15	7,372	24	10,316	39	17,688
大会行事 等	大会・式典	10	10,942	20	9,097	30	20,039
	講演会・講習会	35	43,782	32	12,034	67	55,816
	小 計	45	54,724	52	21,131	97	75,855
そ の 他		0	0	0	0	0	0
合 計		254	214,240	260	103,581	514	317,821
利用率(%)		74.9		74.1		74.5	
前年度利用率(%)		70.7		74.2		72.5	

注) ・利用率は、「利用日数／利用可能日数」(大ホール 247／292、中ホール 245／290)

②神戸文化ホール練習場利用状況表 令和7年4月1日～令和8年3月31日

	合 計
利用件数(件)	3,183
利用者数(人)	42,674
利用率(%)	74.8
前年度利用率(%)	76.6

⑦ 新文化ホール準備事業

ア 事業方針

- ・市からの委託契約に基づき以下の支援業務を行う。
新文化ホールの整備業務への助言、機運醸成に関する業務の支援など
- ・新文化ホール指定管理を当財団が受託することを目指すための準備作業を行う。

イ 事業内容

(ア) 神戸市主催公開フォーラム

令和 8 年 1 月に新文化ホールに関する公開フォーラム「まちと劇場の未来をひらく・神戸文化ホールの新しい挑戦」を神戸市の主催で開催した。三宮への移転・再整備に向け、新しいホールの役割や魅力を考える場として、専門家による講演と、神戸近郊で音楽や演劇などの実演芸術活動に取り組む学生・若手アーティスト 6 組によるパネルディスカッションを行った。(参加者 82 名)



(イ) 市民ニーズアンケート調査、文化センター等でのパネル展示

新文化ホールで実施する事業やサービスに関する市民ニーズを把握するため、アンケート調査を市からの委託事務として実施した（「①公演事業顧客層を対象とした調査」

(WEB・回収数 600)「②神戸市在住・在勤者対象調査」(WEB・回収数 800)、「③現文化ホールおよび文化センター等来場者対象調査」(紙・回収数 3,565)）。また、新文化ホールに関係するポスターパネル及び動画資料を作成し、同じく委託事務として各区文化センター、文化ホール、新開地アートひろばに掲示した（令和 7 年 12 月～令和 8 年 2 月）。

(ウ) その他

- ・神戸市による設計協議、備品リスト作成、事業企画調査等に関する助言等

(2) 新開地アートひろば

① 新開地アートひろば事業

ア 事業方針

- ・文化芸術を軸とした地域の活性化と賑わいづくり
- ・子育て世代をはじめ、幅広い人々が集う、地域にひらかれた文化活動拠点
- ・継続したアーティストの育成・支援
- ・市内外の文化施設や教育機関、財団のネットワークを活用した交流や連携の強化
- ・実施事業の評価・リサーチ・研修による事業向上及び人材育成

イ 事業内容

(ア) 創造発信・地域活性化・施設活用事業

幅広い世代に向けた鑑賞・参加型イベントのほか、てててパークを活用しアーティストやひろばスタッフのワークショップを実施することで地域の文化活動拠点を目指し、アーティストとの協働による創造的プログラムを通年にわたり計画・実施した。

事業名：「ニューあそび場の創造」「月イチ
アーティスト・スタッフとあそぼ！」



〈「ニューあそび場の創造」～to R mansion
新作公演「あらしのよるに～」

(イ) アーティスト育成・支援事業

長期的にアーティストを支援する仕組み作りや、文化芸術活動に携わる様々な人に向けた育成支援事業を展開し、アートファンの裾野を広げることを目的とし、次代を担う若手芸術家の育成プログラムの他、アーティストの創作活動や発表の場の提供を行った。

事業名：「Go!Go! High school Project」、「アーティストサポートプログラム」

(ウ) プログラム連携・ネットワーク構築事業

市内文化施設（KIITO、C.A.P、ファッション美術館等）との連携プログラムの他、トライやるウィークや新開地周辺地域との連携プログラムの実施。

事業名：「Marching KOBE」「Enjoy Dance Festival 2025 in KOBE ーダンスを楽しむ3日間
(共催企画)」

(エ) その他

神戸市・新開地まちづくり NPO 等の地域イベントの受入や協力を行い、地域活性化の取組を実施する。また、当館事業から生まれた「新開地舞踊歌劇団」の活動支援を行った。

事業名：「新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト」「土曜マルシェ」
「新開地冬・夏まつり」

ウ 新開地アートひろば事業実績

〈事業別〉

	事業数	入場者数（人）
創造発信・地域活性化・施設活用事業	6	8,602
アーティスト育成・支援事業	1	235
連携・ネットワーク ・その他事業	3	7,620
合 計	10	16,457

公演実績

令和7年4月1日～令和8年3月31日

創造発信、地域活性化・施設活用事業	開催時期	入場者数 (参加者数)
ニューあそび場の創造Vol.14「南野詩恵シルクスクリーン企画」	6月14日(土)～6月29日(日)	550
ニューあそび場の創造Vol.15「新開地おばけひろば」	7月5日(土)～9月7日(日)	3,586
ニューあそび場の創造Vol.16 toRmansion「あらしのよるに」	12月14日(日)～12月21日(日)	730
ニューあそび場の創造Vol.17「湊川新開地ガイドブック改訂版」	11月6日(木)～2月15日(日)	3,432
てててパーク 月イチ企画	毎月実施	285
シルクスクリーンワークショップ	5月、9月、11月、2月	19
小計		8,602
アーティスト育成・支援事業	開催時期	入場者数 (参加者数)
Go!Go!High schoolProject2025	8月	235
小計		235
プログラム連携・ネットワーク構築事業・その他事業	開催時期	入場者数 (参加者数)
新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト・新開地音楽祭	5月11日(土)	220
新開地土曜マルシェ・新開地夏・冬まつり	毎月第二土曜日	7,130
Enjoy Dance Festival 2025 in KOBE	3月6日(金)～3月8日(日)	270
小計		7,620
合計		16,457

② 新開地アートひろば貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応
- ・市民の芸術文化活動の促進・誘致
- ・利便性の向上と芸術文化活動への協力

イ 事業内容

(ア) 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応

「練習施設」と「発表施設」の用途に即したサポート体制を整備し、利用者のニーズに応え、安心感・快適性を提供した。幼児向けスペースや1階オープンエリアでは、職員が駆け付け可能な体制により、安全性を確保した。

(イ) 市民の芸術文化活動の促進・誘致

アトリエ専門担当者の配置によるサポート体制の構築、1階スペースの賑わいを知名度の向上に結び付けることで、新規利用客の獲得に取り組んだ。

(ウ) 利便性の向上と芸術文化活動への協力

職員が1階に常駐することによる利便性の確保と、文化芸術関連の情報発信のスペースの整備により、市民の芸術文化活動の後押しと拡がりに貢献した。

ウ 新開地アートひろば利用状況表（自主事業含む）

令和7年4月1日～令和8年3月31日

施設名	利用者数	踏入件数 (利用件数)	踏入率 (利用率)	前年度 踏入(利用率)
多機能ホール(KAVCホール)	31,167	166 (442)	56.0% (49.7%)	49.1% (43.8%)
リハーサル室(1・2)	17,991	466 (891)	76.5% (48.8%)	75.9% (45.3%)
ギャラリー	13,295	250 (750)	82.5% (82.5%)	74.1% (74.1%)
アトリエ	502	99 (442)	100.0% (55.5%)	93.9% (51.9%)
スタジオ(1・2・3)	5,162	560 (1,166)	61.9% (43.0%)	44.5% (26.8%)
会議室(1・2)	8,364	328 (681)	53.8% (37.2%)	46.8% (32.5%)
貸館合計	76,481	1,869 (4,372)	68.5% (48.9%)	59.6% (40.6%)
1room入場者数	135,786			
てててパーク入場者数	5,369			
総入場者数	217,636			

アトリエ開放日数	99
開館日数	305

(3) 各区文化センター

① 講座・地域連携事業

ア 事業方針

- ・「地域住民とともに歩む文化センター」として市民の文化活動ニーズに対応、講座事業や神戸芸術文化団体など文化団体などと連携した地域連携事業の実施
- ・子育て世代、子ども対象に参加しやすい料金設定でのイベント、講座を増やす
- ・大学、行政機関などと連携した市民への公開講座を拡充していく
- ・財団が有する文化事業運営ノウハウや、文化団体との人的ネットワークを活用

イ 事業内容

(ア) 講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツなどの講座を、新規に学びたい方にも試みやすい3ヶ月単位の期間（春季・夏季・秋季・冬季）で開催する。神戸市内の他民間カルチャースクールが事業撤退・縮小していく昨今の状況下でも、着実に講座事業を継続し文化活動を楽しんでいただけるよう引き続き運営していく。



(イ) 地域連携事業

各センターの特色を生かした住民参加型の事業に取り組むとともに、「農村歌舞伎」や「須磨琴」など地域の伝統文化や歴史を生かした事業を実施したほか、神戸にゆかりのある音楽家や落語家を迎えた公演等、色彩豊かな事業展開を行った。



(ウ) 文化ホールとの連携事業

令和7年に10回を迎えた「市民の第九」において、市民から公募した260名の合唱団員が各区文化センターでレッスンを積み、文化ホール大ホールの舞台にて成果を披露した。



ウ 講座事業実績

講座実績

令和7年4月1日～令和8年3月31日

		東灘区 文化センター	灘区 文化センター	中央区 文化センター	兵庫区 文化センター	北区 文化センター	北神区 文化センター	長田区 文化センター	須磨区 文化センター	北須磨 文化センター	垂水区 文化センター	西区 文化センター	計
定例講座	講座数	297	423	－	328	343	435	360	261	419	370	570	3,806
	定員(人)	4,825	8,004	－	6,868	5,075	6,095	7,954	3,622	7,577	7,123	10,972	68,115
	応募者数(人)	4,265	6,691	－	4,380	3,484	5,126	5,718	2,529	5,313	6,201	8,202	51,909
	応募率	88.4%	83.6%	－	63.8%	68.7%	84.1%	71.9%	69.8%	70.1%	87.1%	74.8%	76.2%
	受講者数(人)	3,953	6,247	－	4,132	3,293	4,858	5,315	2,364	4,921	5,730	7,589	48,402
	受講率	81.9%	78.0%	－	60.2%	64.9%	79.7%	66.8%	65.3%	64.9%	80.4%	69.2%	71.1%
随時講座	講座数	5	14	9	10	24	22	49	35	72	6	32	278
	定員(人)	212	308	298	223	442	265	765	784	2,569	156	695	6,717
	受講者数(人)	212	262	207	205	207	151	343	305	1,452	130	597	4,071
	受講率	100.0%	85.1%	69.5%	91.9%	46.8%	57.0%	44.8%	38.9%	56.5%	83.3%	85.9%	60.6%
定例&随時講座 受講者数(人)		4,165	6,509	207	4,337	3,500	5,009	5,658	2,669	6,373	5,860	8,186	52,473
定例&随時講座 受講率		82.7%	78.3%	69.5%	61.2%	63.4%	78.8%	64.9%	60.6%	62.8%	80.5%	70.2%	70.1%
前年度の受講率		81.2%	77.4%	77.2%	63.3%	57.1%	80.1%	69.9%	66.3%	58.3%	82.2%	71.2%	70.6%

※中央区文化センターは定例講座実施対象外

イベント実績

令和7年4月1日～令和8年3月31日

		東灘区 文化セン ター	灘区 文化セン ター	中央区 文化セン ター	兵庫区 文化セン ター	北区 文化セン ター	北神区 文化セン ター	長田区 文化セン ター	須磨区 文化セン ター	北須磨 文化セン ター	垂水区 文化セン ター	西区 文化セン ター	センター 計	合同イベント	合 計
A 演奏会	回数	6	0	10	0	1	11	5	7	2	4	5	51	1	52
	来場者数	1,907	0	1,066	0	144	2,140	1,680	1,249	169	1,533	1,161	11,049	1,140	12,189
B 演劇・伝統芸 能	回数	3	0	3	0	2	0	1	2	0	0	5	16		16
	来場者数	713	0	1,033	0	289	0	20	187	0	0	986	3,228		3,228
C 発表会	回数	5	3	0	1	2	5	3	3	1	3	5	31		31
	来場者数	1,835	1,180	0	135	726	930	1,160	492	352	1,687	2,260	10,757		10,757
D その他	回数	5	16	7	2	1	2	5	13	3	1	9	64		64
	来場者数	6,781	748	478	99	35	285	426	2,272	701	25	3,805	15,655		15,655
合 計	回数	19	19	20	3	6	18	14	25	6	8	24	162	1	163
	来場者数	11,236	1,928	2,577	234	1,194	3,355	3,286	4,200	1,222	3,245	8,212	40,689	1,140	41,829

② 演奏事業（神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団）

ア 事業方針

- ・各区文化センターにおける質の高い演奏の提供

イ 事業内容

神戸市室内管弦楽団による、安価な料金で休憩なし 60 分以内の企画を継続する。公演後にはトークなどの交流プログラムを実施するほか、定期演奏会で取り上げないような作品、出演者の組み合わせを積極的に試み、市民に新しい音楽体験を届ける。

ウ 演奏事業実績（文化センター関連）

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

事業名		開催日	公演数	開催場所	入場者数（人）
室内	Selection Vol. 7 「小菅優・最前線 in KOBE」	8/23	1	東灘区文化センター うはらホール	322
	Selection Vol. 8 「変な!? ニューイヤーコンサート」	1/10	1	長田区文化センター別館 ビフレホール	235
混声	ファミリーコンサート	4/29	1	中央区文化センター多目的ホール	102
	あなたに贈るコンサート 「ざくっとメサイア」	6/1	1	長田区文化センター別館 ビフレホール	180
	あなたに贈るコンサート 「Viva! Christmas」	12/25	1	東灘区文化センター うはらホール	175
合計					1,014

③ 文化振興事業

ア 事業方針

- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み

イ 事業内容

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「シャンソン・ポピュレールコンクール（神戸大会）」、神戸文化芸術相談窓口関連企画等を企画した。

また、令和 8 年 9 月より開始される KOBE◆KATSU（コベカツ）について、文化芸術にかかる運営者・指導者育成支援のため、説明会や講習会を企画・実施した。



〈相談窓口関連企画「ミニ畳づくり体験」〉

ウ 文化振興事業実績（文化センター関連）

令和7年4月1日～令和8年3月31日

	事業名	開催時期	開催場所	入場者数（人）
1	NEW YEAR CONCERT	1月10日	中央区文化センター	150
2	神戸三曲協会独奏会	3月15日	東灘区文化センター うはらホール	200
3	全日本シャンソン・ポピュラーコンクール （神戸大会）	9月20日	長田区文化センター別館 ビフレホール	168
4	こうべ文化芸術相談窓口 勉強会&交流会「企画を実現させる5つのコツおしえます」	11月8日	中央区文化センター	17
5	こうべ文化芸術相談窓口 ワークショップ「はじめてのヘルマンハーブ体験会」	12月7日	中央区文化センター	12
6	こうべ文化芸術相談窓口 ワークショップ「日本の伝統に触れる ミニ畳づくり体験」	2月21日	須磨区文化センター	10
7	こうべ文化芸術相談窓口 勉強会「資金調達・クラウドファンディング講座」	3月5日	中央区文化センター	33
8	こうべ文化芸術相談窓口 えほんづくりワークショップ 「せかいにひとつ！じぶんだけのオリジナルえほんをつくってみよう」	3月14日	長田区文化センター	12
9	KOBE◆KATSU 運営者向け説明会	6月17日・20日	長田区文化センター別館 ビフレホール	214
10	KOBE◆KATSU 吹奏楽クラブ向け講習会	2月4日・5日	中央区文化センター	33
11	KOBE◆KATSU 合唱クラブ向け講習会	2月26日・27日	中央区文化センター	13
合計				862

④ 情報発信

チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、文化センターだよりの発行、友の会運営に取り組むとともに SNS を積極的に活用していく。

⑤ 貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供
- ・市立の貸館施設として、公的機関及び団体に研修・会合・健診等の誘致活動を実施
- ・財団が運営する定例講座とは別に、利用率の低い貸室を市民の「教えたい」ニーズ対応として貸館利用で講師が、一定期間講座を開設することで、市民の「学びたい」ニーズにも応え、利用率改善にもつなげる
- ・多くの市有施設を一体管理する新貸館システム「あじさいネット」により利用者の利便性の向上につなげていく。

イ 事業内容

（ア）サービスと利便性の向上

例：休館日の祝日開館、インターネット予約受付、インターネット無料接続サービスの提供、利用料金の割引対象拡充、利用料金等のキャッシュレス決済の導入市有施設利用申し込み一体管理システム（あじさいネット）導入など

（イ）地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援

例：包括協定を締結した神戸芸術文化団体と事業連携強化など

ウ 文化センター貸館利用状況表

※利用率…実利用率

令和7年4月 ～ 令和8年3月

			東灘区文化センター	灘区文化センター	中央区文化センター	兵庫区文化センター	北区文化センター	北神区文化センター	長田区文化センター	別館 ビブレホール	須磨区文化センター	北須磨文化センター	垂水区文化センター	西区文化センター	合 計
貸 室 利 用	(大会議室)	利用者数	70,001	29,482	31,661	－	7,670	24,165	29,152	58,503	9,279	4,424	36,178	17,453	317,968
		利用件数	614	764	598	－	110	465	300	506	313	297	349	585	4,901
		利用率(%)	68.5%	78.6%	61.1%	－	39.6%	49.0%	30.8%	51.1%	32.6%	31.7%	36.7%	62.5%	49.9%
	会議室	利用者数	90,608	46,546	180,285	53,837	41,489	81,836	47,447	21,863	31,594	12,770	70,245	53,199	731,719
		利用件数	3,856	3,450	13,176	4,477	2,909	4,082	4,342	1,272	2,533	2,453	5,033	3,863	51,446
		利用率(%)	65.8%	70.9%	62.5%	46.1%	50.4%	60.4%	49.6%	43.3%	43.1%	37.4%	57.5%	57.3%	54.9%
	特目室	利用者数	44,803	41,616	58,393	17,684	7,215	25,565	22,646	28,298	18,103	13,324	25,072	36,259	338,978
		利用件数	3,573	3,627	3,719	1,483	768	2,259	2,779	1,541	2,295	1,307	1,532	4,012	28,895
		利用率(%)	53.2%	41.9%	46.5%	30.6%	27.0%	38.7%	35.8%	40.9%	39.1%	19.9%	31.7%	51.7%	39.4%
	(プールの室)	利用者数	－	35,291	－	40,867	54,349	－	45,536	－	－	87,014	－	－	263,057
		利用件数	－	959	－	1,778	1,862	－	1851	－	－	2627	－	－	9077
		利用率(%)	－	98.5%	－	91.9%	95.0%	－	95.0%	－	－	93.5%	－	－	94.3%
	合 計	利用者数	205,412	152,935	270,339	112,388	110,723	131,566	144,781	108,664	58,976	117,532	131,495	106,911	1,651,722
		利用件数	8,043	8,800	17,493	7,738	5,649	6,806	9,272	3,319	5,141	6,684	6,914	8,460	94,319
		利用率(%)	59.7%	56.9%	58.2%	46.9%	52.0%	50.3%	47.7%	43.1%	40.5%	39.6%	47.6%	54.8%	50.6%
	前年同期	利用者数	171,332	159,410	259,412	116,363	131,291	114,289	147,449	94,042	55,572	83,148	142,318	107,293	1,581,919
		利用件数	7,628	8,661	16,947	7,006	5,849	6,454	8,482	3,073	4,977	4,342	7,020	9,931	90,370
		利用率(%)	56.8%	55.9%	56.5%	42.5%	51.3%	47.9%	44.2%	44.6%	39.3%	34.6%	48.3%	64.6%	49.8%

収益事業

(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

コンベンションなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供した。また自動販売機設置や駐車場など神戸文化ホール利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール	: 2043 席
	中ホール	: 904 席
	リハーサル室	: 150 名
	練習室 1～5・多目的室・特別控室	: 15 名～150 名
	自動販売機	: 7 台

【貸館利用件数】	大ホール	合計 254 件	うち収益 65 件
	中ホール	合計 260 件	うち収益 69 件

(2) 新開地アートひろば貸館・管理事業

子育て世代をはじめとした幅広い人々が集う地域に開かれた施設を目指した。特に1階は、子ども向けスペースや飲食店舗「はっちゃんの台所」など、利用者が気軽に立ち寄り、集いやすいスペースとしての運営を行った。

※施設概要	多目的ホール	: 232 席
	ギャラリー	: 129 m ²
	リハーサル室 1～2	: 120 m ² ～189 m ²
	会議室 1～2、スタジオ 1～3、1room 等	
	てててパーク	: 88 m ²
	自動販売機	: 2 台

【貸館利用件数】	貸館合計	4,372 件	うち収益 192 件
----------	------	---------	------------

(3) 文化センター講座・地域連携事業

スポーツ等、文化振興目的以外でニーズの高い講座や自主事業を開催した。

※例	講 座	: 健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球、水泳など
	自主事業	: コミュニティフェスティバル、卓球大会など

【定例講座件数】	合計	3,806 件	うち収益 1,200 件
----------	----	---------	--------------

(4) 文化センター貸館・管理事業

イベントなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また自動販売機設置や駐車場等文化センター利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール、体育施設、プール	
	会議室、多目的室	
	和室・音楽室・美術室・陶芸室等	
	自動販売機	: 33 台
	駐車場（北神区文化センター）	: 123 台

【貸館利用件数】	合計	94,319 件	うち収益 15,969 件
----------	----	----------	---------------

法人管理運営事業（法人運営全体に関わる事業）

（１）専門性の強化・効率的な執行体制の構築

芸術文化事業についての研修等の充実を図り、職員の知識の向上及び専門性の強化など人材育成に取り組んだ。具体的には、基礎実務研修に加え、外部専門家を招聘した特別講義等を定期的実施し、人材育成プログラムの充実を進めている。さらに、優秀な職員を固有職員として登用することで、財団全体における知識・経験の蓄積を図った。

また、令和３年度から経験豊富な人材を積極的に登用し、新文化ホールを見据えた体制の強化を図るとともに、イベント運営ノウハウの修得を目指し「神戸六甲ミーツ・アート」の事務局を担う六甲山観光株式会社への人的支援を引き続き実施している。

（２）経営の安定化

事業部ごとの独立採算およびセグメント会計の考えに基づき、経費構造の見直し、ICTの活用による業務の効率化を推進した。加えて、公益性の高い事業に対し国等からの外部助成金の積極的な獲得に取り組んだ。

また、平成３０年７月に地元経済界が設立した「神戸文化マザーポートクラブ」の事務局を担うことにより、経済界からの芸術文化事業への支援促進を図っている。

指定管理施設利用実績

1 神戸文化ホール

		令和 6 年度実績	令和 7 年度実績
利用率 (踏入率)	大ホール	80.3%	84.6%
	中ホール	84.4%	84.5%
利用率 (実利用率)	大ホール	70.7%	74.9%
	中ホール	74.2%	74.1%
利用者数	大中ホール	317,078 人	317,821 人
	練習室含む	362,117 人	360,495 人
利用者満足度		98%	98%
友の会 加入数	個人	389 人	273 人

2 新開地アートひろば

		令和 6 年度実績	令和 7 年度実績
利用率 (踏入率)	ホール	49.1%	56.0%
	ギャラリー	74.1%	82.5%
利用率 (実利用率)	ホール	43.8%	49.7%
	ギャラリー	74.1%	82.5%
利用者数		194,449 人	217,636 人
利用者満足度		99%	99%

3 文化センター

		令和 6 年度実績	令和 7 年度実績
利用率 (踏入率)	全体	75.0%	76.9%
	うちホール	70.0%	74.4%
利用率 (実利用率)	全体	49.8%	50.6%
	うちホール	50.5%	49.9%
講座受講者数		51,876 人	52,473 人
利用者満足度		98%	98%

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

【神戸からの創造・発信を行う】

KPI	R 7 年度実績
（事業部） 令和 5 年度より企画・制作及び発信型事業年 1 演目以上実施	達成 14 回
（事業部） 他館連携型の事業の企画・実施 年 1 回以上	達成 1 回
（事業部、管理部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 文化センター、新開地アートひろばで行われる公演のうち、その発展性を見込んで文化ホールでの開催に移行するものの選定 年 1 回以上	達成 1 回
（事業部） 相談窓口利用者の発展的活動展開 利用者の 70% 以上	未達成 利用者アンケート回答で「発展的な活動につながった」と回答 55.5%

【地域社会の絆をつなぐ】

KPI	R 7 年度実績
（事業部、管理部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 公演におけるバリアフリーへの工夫 自主事業毎に 1 つ以上	達成 文化ホール：「流々転々」での 字幕表示 文化センター：子ども向けイベントで ベビーカー置き場設置 等
（事業部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 社会包摂型の自主事業 年に 1 回以上	達成 30 回
（事業部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 多文化共生を目指す自主・共催事業等 年に 1 回以上	達成 8 回
（総務課） C 情報フォロワー数 1 万人以上	未達成 7,351 人（令和 8 年 5 月時点）
（新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 各文化センターにて地域文化活性化事業を実施 年 3 回以上	達成 年 3 回以上
（新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 講座参加者数 20% 増（対令和 3 年度比。講師主催講座含む。）	達成 21% 増

【くらしと芸術文化をつなぐ】

KPI	R 7 年度実績
（事業部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 市民ネットモニターアンケート「過去１年間で芸術文化を鑑賞した人の割合（絵画・音楽・演劇・映画・ダンス等）80%以上	— ※令和 7 年度実施なし
（事業部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 敷居を下げた参加しやすい自主事業の企画、継続実施 年に 5 回以上	達成 24 回
（事業部） 異分野との連携による事業の企画・実施 年 1 回以上	達成 5 回

【学ぶ、トライするを支える】

KPI	R 7 年度実績
（事業部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） アートマネジメント人材養成事業への参加者 年 100 人以上	達成 171 人
（事業部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 新たな市民を呼び込む事業数 年 30 回以上	達成 53 回
（文化センター部及び文化センター） 講座参加者数 20%増（再掲）	達成 21%増
（事業部文化ホール事業課及び演奏課） 市内小学生が実演芸術を経験する 小学校期間中に 1 回以上	達成 （例）インリーチ・アウトリーチ事業、こころの劇場等

【経営を安定化する】

KPI	R 7 年度実績
（全部署） 助成金の新規申請及び獲得 毎年度新規 1 件以上増	達成 2 件
（総務部） 一般正味財産が必要とされる充当額を毎年度下回らない	未達成 ▲32, 294, 788 円
（総務部） 財政・経理に関する職員研修 毎年度 1 回以上	達成 1 回
（総務部） 常勤役員を除く、課長級以上の市出向職員の比率 40%以下	達成 10%

3 令和7年度決算

(1) 事業別収支計算書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日, 単位: 円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
公益目的事業会計	2,358,293,250	公益目的事業会計	2,453,504,676
文化振興事業収入	64,711,846	文化振興事業支出	64,154,591
演奏事業関係収入	263,113,951	演奏事業関係支出	252,318,063
フルートコンクール事業収入	100,236,881	フルートコンクール事業支出	87,744,082
文化ホール公演事業収入	84,337,453	文化ホール公演事業支出	83,266,266
文化ホール貸館・管理事業収入	281,637,716	文化ホール貸館・管理事業支出	333,266,448
新開地アートひろば公演事業収入	12,249,420	新開地アートひろば公演事業支出	12,538,098
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	145,005,383	新開地アートひろば貸館・管理事業支出	154,930,760
文化センター講座等事業収入	371,624,900	文化センター講座等事業支出	359,283,330
文化センター貸館・管理事業収入	1,002,283,140	文化センター貸館・管理事業支出	1,051,717,218
50周年事業収入	23,092,560	50周年事業支出	44,292,554
新ホール受託収入	10,000,000	新ホール受託収入	9,993,266
収益事業等会計	594,085,907	収益事業等会計	541,830,308
文化ホール貸館・管理事業収入	61,593,584	文化ホール貸館・管理事業支出	69,729,868
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	10,893,523	新開地アートひろば貸館・管理事業支出	10,241,500
文化センター講座等事業収入	184,272,550	文化センター講座等事業支出	168,703,743
文化センター貸館・管理事業収入	337,326,250	文化センター貸館・管理事業支出	293,155,197
法人会計	108,697,387	法人会計	139,536,348
財団管理運営事業収入	108,697,387	財団管理運営事業支出	139,536,348
当期収入合計 (A)	3,061,076,544	当期支出合計 (B)	3,134,871,332
		当期収支差額 (A) - (B)	△ 73,794,788

*神戸市からの収入

- | | |
|---------|-------------|
| (1) 補助金 | 398,465千円 |
| (2) 受託料 | 1,288,204千円 |

(2) 正味財産増減計算書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日, 単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収益	0	0	334,600	334,600
文化事業収益	496,989,734	184,270,891	0	681,260,625
事業受託収益	10,000,000	0	0	10,000,000
管理受託収益	1,063,467,056	254,245,025	0	1,317,712,081
施設利用料金収益	426,416,441	155,568,024	0	581,984,465
受取補助金等	361,159,989	308	85,915,000	447,075,297
受取寄付金	260,030	0	0	260,030
受取利息	0	1,659	8,937	10,596
雑収益	0	0	22,438,850	22,438,850
経常収益計	2,358,293,250	594,085,907	108,697,387	3,061,076,544
(2) 経常費用				
事業費	2,453,504,676	541,830,308	0	2,995,334,984
管理費	0	0	134,430,547	134,430,547
経常費用計	2,453,504,676	541,830,308	134,430,547	3,129,765,531
当期経常増減額	△ 95,211,426	52,255,599	△ 25,733,160	△ 68,688,987
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	1	1
当期経常外増減額	0	0	△ 1	△ 1
他会計振替額	13,969,136	△ 13,969,136		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 81,242,290	38,286,463	△ 25,733,161	△ 68,688,988
法人税、住民税及び事業税	0	5,105,800	0	5,105,800
当期一般正味財産増減額	△ 81,242,290	33,180,663	△ 25,733,161	△ 73,794,788
一般正味財産期首残高	△ 42,321,543	290,946,729	△ 151,683,332	96,941,854
一般正味財産期末残高	△ 123,563,833	324,127,392	△ 177,416,493	23,147,066
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	0	0	200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000	0	0	200,000,000
正味財産期首残高	157,678,457	290,946,729	△ 151,683,332	296,941,854
III 正味財産期末残高	76,436,167	324,127,392	△ 177,416,493	223,147,066

(3)貸借対照表

(令和8年3月31日現在, 単位: 円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	3,943,844	未払金	317,311,098
預金	317,407,549	前受金	172,162,457
未収金	128,019,647	預り金	20,042,916
前払金	1,211,284	賞与引当金	15,822,245
預け金	26,000	流動負債合計	525,338,716
流動資産合計	450,608,324	2. 固定負債	
2. 固定資産		退職給付引当金	16,293,316
(1)基本財産		固定負債合計	16,293,316
投資有価証券	209,482,246	負債合計	541,632,032
預金	7,427,754		
基本財産合計	216,910,000		
(2)特定資産		III 正味財産の部	
退職給付引当資産	16,293,316	1. 指定正味財産	
特定費用準備資金	15,000,000	基本財産	200,000,000
特定資産合計	31,293,316	指定正味財産合計	200,000,000
(3)その他固定資産		(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)
什器備品	1,317,308	2. 一般正味財産	23,147,066
保証金	64,650,150	(うち基本財産への充当額)	(16,910,000)
その他固定資産合計	65,967,458	(うち特定資産への充当額)	(6,237,066)
固定資産合計	314,170,774	正味財産合計	223,147,066
資産合計	764,779,098	負債及び正味財産合計	764,779,098

(4)財産目録

(令和8年3月31日現在, 単位: 円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金		未払金	
手元有高	3,943,844	神戸市精算金、未払法人税等	317,311,098
普通預金		前受金	
三井住友銀行ほか4行	314,682,644	文化ホール利用料等	172,162,457
振替預金		預り金	
ゆうちょ銀行	2,484,905	自主事業入場料収入等	20,042,916
定期預金		賞与引当金	15,822,245
三井住友銀行	240,000	流動負債合計	525,338,716
未収金	128,019,647		
前払金	1,211,284		
預け金	26,000		
流動資産合計	450,608,324		
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1)基本財産		退職給付引当金	16,293,316
投資有価証券		固定負債合計	16,293,316
地方債等	209,482,246		
普通預金	517,754		
定期預金	6,910,000		
基本財産合計	216,910,000		
(2)特定資産			
退職給付引当資産	16,293,316		
特定費用準備資金	15,000,000		
特定資産合計	31,293,316		
(3)その他固定資産			
什器備品	1,317,308		
保証金	64,650,150		
その他固定資産合計	65,967,458		
固定資産合計	314,170,774		
		負債合計	541,632,032
資産合計	764,779,098	差引正味財産	223,147,066

(5) 事業別収入明細書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日, 単位: 円)

科 目	収 入	内 訳						
		事業収入	指定管理料等 収入	補助金収入	助成金収入	利用料金 収入	寄付金収入	その他収入
公益目的事業会計	2,358,293,250	510,348,104	1,060,108,686	312,550,377	48,609,612	426,416,441	260,030	0
文化振興事業収入	64,711,846	18,151,780	0	46,518,377	0	0	41,689	0
演奏事業収入	263,113,951	56,079,951	0	188,789,000	18,030,000	0	215,000	0
フルートコンクール事業収入	100,236,881	21,340,881	0	61,683,000	17,213,000	0	0	0
文化ホール公演事業収入	84,337,453	14,304,953	47,600,000	15,560,000	6,872,500	0	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	281,637,716	0	115,367,033	0	0	166,270,683	0	0
新開地アートひろば公演事業収入	12,249,420	2,249,420	10,000,000	0	0	0	0	0
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	145,005,383	0	131,521,544	0	0	13,483,839	0	0
文化センター講座等事業収入	371,624,900	371,621,559	0	0	0	0	3,341	0
文化センター貸館・管理事業収入	1,002,283,140	0	755,620,109	0	1,112	246,661,919	0	0
50周年事業収入	23,092,560	16,599,560	0	0	6,493,000	0	0	0
新文化ホール受託収入	10,000,000	10,000,000						
収益事業等会計	594,085,907	184,270,891	254,245,025	0	308	155,568,024	1,659	0
文化ホール貸館・管理事業収入	61,593,584	0	26,811,446	0	0	34,782,138	0	0
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	10,893,523	0	10,005,332	0	0	888,191	0	0
文化センター講座等事業収入	184,272,550	184,270,891	0	0	0	0	1,659	0
文化センター貸館・管理事業収入	337,326,250	0	217,428,247	0	308	119,897,695	0	0
法人会計	108,697,387	0	0	85,915,000	0	0	0	22,782,387
管理運営事業収入	108,697,387	0	0	85,915,000	0	0	0	22,782,387
合 計	3,061,076,544	694,618,995	1,314,353,711	398,465,377	48,609,920	581,984,465	261,689	22,782,387

(6) 事業別支出明細書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日, 単位: 円)

科 目	合 計	内 訳	
		人 件 費	物 件 費
公益目的事業会計	2,453,504,676	402,230,348	2,051,274,328
文化振興事業支出	64,154,591	43,383,144	20,771,447
演奏事業関係支出	252,318,063	59,337,764	192,980,299
フルートコンクール事業支出	87,744,082	16,450,514	71,293,568
文化ホール関係支出	416,532,714	79,112,163	337,420,551
新開地アートひろば関係支出	167,468,858	60,617,697	106,851,161
文化センター関係支出	1,411,000,548	143,329,066	1,267,671,482
新文化ホール受託支出	9,993,266	0	9,993,266
50周年事業	44,292,554	0	44,292,554
収益事業等会計	541,830,308	56,077,390	485,752,918
文化ホール関係支出	69,729,868	9,101,537	60,628,331
新開地アートひろば関係支出	10,241,500	3,992,934	6,248,566
文化センター関係支出	461,858,940	42,982,919	418,876,021
法人会計	139,536,348	96,697,140	42,839,208
管理費等支出	139,536,348	96,697,140	42,839,208
合 計	3,134,871,332	555,004,878	2,579,866,454

(7)財務状況の推移

(単位：千円)

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	6 → 7増減
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部	当期経常増減額	36,821	▲ 6,164	▲ 68,688	▲ 62,524
		経常収益	2,897,541	2,938,393	3,061,076	122,684
		うち公益	2,124,698	2,263,532	2,358,293	94,761
		うち公益以外	772,843	674,861	702,783	27,922
		経常費用	2,860,720	2,944,557	3,129,765	185,208
		うち事業費（公益）	2,133,134	2,324,614	2,453,505	128,891
		うち事業費（公益以外）	648,007	511,274	541,830	30,556
		うち管理費（公益）	0	0	0	0
		うち管理費（公益以外）	79,579	108,669	134,430	25,761
		評価損益等	0	0	0	0
	当期経常外増減額	当期経常外増減額	▲ 1,062	0	0	0
		経常外収益	0	0	0	0
		経常外費用	1,062	0	0	0
	法人税、住民税及び事業税		2,064	6,526	5,105	▲ 1,421
	当期一般正味財産増減額		33,694	▲ 12,690	▲ 73,794	▲ 61,104
	一般正味財産期首残高		75,937	109,631	96,941	▲ 12,690
	一般正味財産期末残高		109,631	96,941	23,147	▲ 73,794
	指定正味財産	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
		指定正味財産増加額	0	0	0	0
		指定正味財産減少額	0	0	0	0
		うち一般正味財産への振替額	0	0	0	0
		指定正味財産期首残高	0	200,000	200,000	0
	指定正味財産期末残高		200,000	200,000	200,000	0
	正味財産期首残高		75,937	309,631	296,941	▲ 12,690
	当期正味財産増減		33,694	▲ 12,690	▲ 73,794	▲ 61,103
	正味財産期末残高		109,631	296,941	223,147	▲ 73,794
貸借対照表（B／S）	資産合計		765,395	811,067	764,779	▲ 46,288
	流動資産		405,705	491,288	450,608	▲ 40,680
	固定資産		359,690	319,779	314,171	▲ 5,608
	うち建物		0	0	0	0
	負債合計		455,763	514,125	541,632	27,507
	流動負債		445,805	502,512	525,339	22,827
	うち短期借入金		0	0	0	0
	固定負債		9,958	11,614	16,293	4,679
	うち長期借入金		0	0	0	0
	正味財産合計		309,632	296,941	223,147	▲ 73,794
	指定正味財産		200,000	200,000	200,000	0
	一般正味財産		109,632	96,941	23,147	▲ 73,794

V 令和8年度事業計画

項目

●主な事業内容

- 第11回神戸国際フルートコンクール 第1位記念
ファビアン・ヨハネス・エッガー フルートリサイタル
- STILL LIFE -スティル・ライフ-
- 新・神戸文化ホール指定管理業務の獲得
- 文化センター指定管理業務の獲得

●公益目的事業

- 文化ホール
 - 1 公演事業
 - 2 演奏事業（神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団）
 - 3 文化振興事業
 - 4 フルートコンクール事業
 - 5 情報発信（公益目的事業共通）
 - 6 貸館・管理事業
- 新開地アートひろば
 - 1 新開地アートひろば事業
 - 2 貸館・管理事業
- 各区文化センター
 - 1 講座・地域連携事業
 - 2 演奏事業（神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団）
 - 3 文化振興事業
 - 4 情報発信
 - 5 貸館・管理事業

●収益事業

- 神戸文化ホール貸館・管理事業
- 新開地アートひろば貸館・管理事業
- 文化センター講座・地域連携事業
- 文化センター貸館・管理事業

●法人管理運営事業

●経営改善の取り組み

●令和8年度予算

1 概 要

平成29年に改正された「文化芸術基本法」では、文化芸術の意義と価値を尊重しつつも、文化芸術そのものだけではなく、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育などと連携し、文化芸術により生み出されるさまざまな価値を活用することにより、心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に貢献することを目的としている。また、神戸市においては、「神戸2025ビジョン」やその具体的施策として、市の文化芸術施策が目指す姿や基本的な方向性を示す指針となる「神戸市文化芸術推進ビジョン」が策定されている。

当財団でも、これらのビジョン等を踏まえ、令和4年度から令和8年度を計画年度として策定した「中期経営計画2026」に基づいて、神戸市民の文化の活動の振興に資する事業を行っていく。

【主な事業内容】

（1）第11回神戸国際フルートコンクール 第1位記念

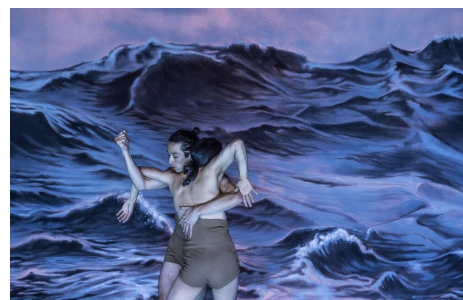
ファビアン・ヨハネス・エッガー フルトリサイタル

令和7年度に開催された、第11回神戸国際フルートコンクールの第1位入賞者のうちの1名である、ファビアン・ヨハネス・エッガーを招聘し、記念のリサイタルを行う。東京公演終了後には、群馬交響楽団の定期演奏会への客演（ソリスト）や、台湾でのリサイタル公演も行う。



（2）STILL LIFE -スティル・ライフ-

神戸文化ホールが創作協力し、ノルウェーで初演された森山未来出演ダンス公演『STILL LIFE -スティル・ライフ-』を招聘し、横浜赤レンガ倉庫1号館および静岡グランシップとの連携により3都市ツアーを実施する。



（3）新・神戸文化ホール指定管理業務の獲得

令和8年度に迫った新・神戸文化ホールの指定管理者選定に向けて、令和7年度に設置した、新文化ホール受託準備室の体制を拡充・刷新する。

専任の担当課長等を配置し、開館記念事業を含む事業計画案の作成にかかる調査、優先予約を含む施設予約にかかるシステムや規則の整備、機運醸成施策の実施等を行う。

（4）文化センター指定管理業務の獲得

令和8年度に迫った文化センターの指定管理者選定について、選定方法が公募・非公募にも関わらず確実に獲得できる基盤を構築する。

2 事業計画

公益目的事業

(1) 文化ホール

① 文化ホール公演事業

ア 事業方針

- ・ 令和 10（2028）年度の新・神戸文化ホール開館を見据え、市民の誇りとなるような神戸発の創造発信事業や、先進的な取り組みを行っている優れた文化施設・芸術団体等と連携した作品群を展開 【創造発信・情報事業】
- ・ 普及拠点として誰もが舞台芸術に触れる機会を提供するとともに、神戸の街や市民と交流する文化芸術ネットワークを形成 【普及啓発・交流事業】
- ・ 全国の劇場や教育機関と連携して芸術文化の次世代の担い手を育成し、神戸における創造活動の持続可能性を高めていく 【育成・支援事業】

イ 事業内容

(ア) 創造発信・情報事業

森山未来出演ダンス公演『STILL LIFE -スティル・ライフ-』を開催するほか、KAAT 神奈川芸術劇場との連携により、1996 年ローレンス・オリヴィエ賞を受賞、2015 年トニー賞リバイバル作品賞を受賞したイギリス人の劇作家 デイヴィット・ヘアの 3 人芝居『スカイライト/Skylight』を上演。情報誌「ほーるめいと」は、チケット販促目的の発売情報誌として自主事業や公演情報を掲載し、年 6 回発信する。また、創作背景や劇場独自の企画、制作レポート等、ホールのブランディングやオウンドメディアとしての機能に特化した機関誌「別冊ほーるめいと」を年 2 回発行し、神戸文化ホールからの情報発信の強化に努める。SNS を活用したメールマガジン、X（エックス）、Facebook での発信や、ホームページ内容の充実など最新の動向を反映させながら機能向上を図る。

(イ) 普及啓発・交流事業

「こどもコブホ 2026」シリーズとして、全館を街に開くフェスティバル「神戸文化ホールウェルカムジャンボリー2026」、彩の国埼玉芸術劇場との連携により舞台作品「おどる絵本 みえるとか みえないとか」を上演し、子ども・青少年が優れた舞台芸術に親しむ機会を提供するほか、開館翌年の 1974 年から続く市内小学生の招待公演「こころの劇場」（出演：劇団四季）を実施し、新たな観客を育成するとともに神戸の子どもたちの心の豊かさの涵養に貢献する。



(ウ) 育成・支援事業

芸術文化の次世代の担い手を育成し、神戸における創造活動の持続可能性を高めるための取り組みとして、専門人材を講師に招く「アートマネジメント人材養成講座」を全 3 回のシリーズとして開講するとともに、神戸近郊の大学や専門職大学等の学生インターンを臨地実習として受け入れる。また、全国公立文化施設協会の舞台映像上映試行事業を誘致し、新たな観客との出会い作りに取り組むほか、映像表現に関するノウハウの蓄積などホールスタッフの機能向上にも努める。

ウ 文化ホール事業一覧

(単位：人)

事業名	開催時期	公演数	開催場所	入場者数
創造発信・情報事業	5事業7公演3企画			7,133
『STILL LIFE -スティル・ライフ-』	6/20～21	2	神戸文化ホール 中ホール	1,482
『STILL LIFE -スティル・ライフ-』ダンス・ワークショップ	6/17	1	神戸文化ホール リハーサル室	31
貞松・浜田バレエ団「ジゼル」	10/4	1	神戸文化ホール 大ホール	1,500
貞松・浜田バレエ団「くるみ割り人形」	12/19～20	2	神戸文化ホール 大ホール	3,000
『スカイライト／Skylight』	2/6～7	2	神戸文化ホール 中ホール	1,100
『スカイライト／Skylight』戯曲ワークショップ	調整中	1	神戸文化ホール	20
情報誌「ほーるめいと」	発売情報誌：年6回発行 機関誌：年2回発行予定			
普及啓発・交流事業	8事業18公演3企画			19,496
劇団唐組 第77回公演「鉛の兵隊」	4/17～19	3	湊川公園 特設紅テント	611
こどもコブホ2026 神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2026 連携イベント	4/29	1	DANCE BOX	100
こどもコブホ2026 神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2026「コッペリア」他	5/30	2	神戸文化ホール 大ホール・中ホール 他	2,355
こどもコブホ2026 「みえるとか みえないとか」関連イベント ダンスワークショップ	8/15	1	神戸文化ホール リ ハーサル室	30
こどもコブホ2026 「みえるとか みえないとか」	8/16	1	神戸文化ホール 中ホール	600
第50回 東西落語名人選	9/12	2	神戸文化ホール 中ホール	1,200
和太鼓松村組 神戸公演2026	10/24	1	神戸文化ホール 大ホール	1,500
劇団四季こころの劇場 神戸公演	11/17～20	7	神戸文化ホール 大ホール	12,000
PRAY FROM KOBE ～明日につなげるコンサート～	1/17	1	神戸文化ホール 大ホール	500
第十九回 神戸能	3/20	1	神戸文化ホール 中ホール	600
育成・支援事業	2事業5企画			184
アートマネジメント人材養成講座 アートマネジメント講座	9/10. 10/8 11/6	3	中央区文化センター	150
アートマネジメント人材養成講座 連携大学インターンシップ	5月～2月	1	神戸文化ホール等	30
芸術文化観光専門職大学 臨地実務実習（劇場プロデュース実習）	夏季／冬季	1	神戸文化ホール等	4
神戸文化ホール事業合計	15事業25公演11企画			26,813

② 演奏事業（神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団）

ア 事業方針

- ・神戸文化ホールにおける質の高い演奏の提供
- ・広報強化、アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ・自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

イ 事業内容

(ア) 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

全国の自治体で唯一、ホール専属の神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団を保有・運営している強みを活かし、実力ある両団を核とした創造力あふれる企画発信や年齢や障がいを超えて子ども達が楽しむことができる「こどもコンサート」の実施など、普及啓発や社会包摂事業の充実をはかり、「音楽のまち神戸」のシティプロモーション、シビックプライドの醸成に資する。

(イ) 教育普及に関する取り組み

a 小学校インリーチ・アウトリーチ

次代を担う子ども達に対する音楽鑑賞機会の提供のため、市立小学校に通う児童を対象とした「インリーチ事業」「アウトリーチ事業」に取り組む。

<インリーチ事業>

公演概要：

「(仮) オンガクの実験室」

オーケストラ作品・合唱作品の鑑賞を中心に、子供達の参加コーナーを交えて構成。コンサートホールで本格的な生演奏に触れる体験を通じて、より深く音楽の楽しさ・喜び・芸術性を共有し、子供達の創造力を高めることを狙いとしたプログラム。神戸文化ホールへの来場にハードルがある学校を取りこぼさないため、神戸文化ホール公演に加え、文化センターでの公演を実施する（毎年1会場選定）。

日程・会場：

令和9年1月28日、29日 場所：神戸文化ホール（大ホール）

令和9年2月2日 場所：垂水区文化センター（レバンテホール）



<アウトリーチ事業>

市立特別支援学校に通う生徒に向けて、障害に関わらずリラックスした環境で身近に音楽を楽しめるよう、希望する学校へ演奏家が出向く出張演奏を実施する。

※令和8年度希望校募集中

b 文化庁 舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）への参加

（独法）日本芸術文化振興会の採択を受け、希望する国内の小中学校において、神戸市室内管弦楽団の出張演奏・ワークショップを実施する。（※令和8年初採択）

実施期間：ワークショップ 令和8年5月1日～令和9年1月29日

メインプログラム 令和8年6月1日～令和9年1月29日

対象エリア：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

訪問校数(予定)：19校

—文化庁 学校巡回公演について—

全国の小学校・中学校等においてトップレベルの文化芸術団体による巡回公演を行うことを通じて、将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進することを目的とした事業。

(ウ) 楽団周知・魅力発信の取り組み

神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団の定期演奏会を1年間のセットで聴くことができる「定期会員制度」の募集、サービス内容を強化し、安定した固定客層の獲得を目指す。あわせて、文化センター（東灘区・中央区）と連携した定期演奏会事前レクチャーを開催する。

また引き続き、効果的な広告出稿、SNS 発信の工夫、記者懇談会の開催などで効果的な広報を展開する。加えて、他施設・団体等からの公演依頼や企業支援の獲得等に積極的に取り組み、市内外問わずより幅広く認知され、愛される団の運営を目指す。

ウ 演奏事業実績

【自主公演】

(単位：人)

事業名		開催時期	公演数	開催場所	来場者数
神戸市室内管弦楽団	第172回定期演奏会 「イタリア紀行」	5/16	1	神戸文化ホール 大ホール	1,707
	第173回定期演奏会 「からみあう情熱」	6/20	1	神戸文化ホール 大ホール	1,717
	第174回定期演奏会 「歌劇『スザンナの秘密』」	8/1	1	神戸文化ホール 大ホール	1,057
	第175回 「彼方へ響きわたる調べ」	11/7	1	神戸文化ホール 大ホール	650
	第176回定期演奏会 「秀美のベートーヴェンⅠ 開幕」	2/6	1	神戸文化ホール 大ホール	650
神戸市混声合唱団	合唱コンクール 課題曲コンサート	5/23	1	神戸文化ホール 大ホール	731
	秋の定期演奏会 「濱田芳通と奏でる《モンセラートの 朱い本》」	9/19	1	神戸文化ホール 中ホール	650
	春の定期演奏会 「アイガットリズム! アメリカンオペ ラの夢」	3/13	1	神戸文化ホール 大ホール	650
合同	こどもコンサート	7/18	1	神戸文化ホール 大ホール	650
	合同定期演奏会 「ファウストの劫罰」	12/5	1	神戸文化ホール 大ホール	800
自主公演合計					9,262

【主な依頼公演】

事業名		開催時期	公演数	開催場所	来場見込
合同	文化ホールインリーチ事業	1/28, 29	4	神戸文化ホール 大ホール	4,000
合同	文化センターインリーチ事業	2/2	2	垂水区文化センター レバンテホール	1,000
合同	特別支援学校アウトリーチ	12/16, 17, 18	調整中	市立灘さくら支援学校 市立友生支援学校 市立いぶき明生支援学校	700
合同	文化庁 舞台芸術等総合支援事業 (学校巡回公演) 本公演	10/6～11-27	19	岡山市、岡山県、広島県、 島根県、広島市、広島県、 山口県内の小・中学校全19 校	6,200
合同	ろうきんコンサート	10/17, 18	2	神戸文化ホール 中ホール YBファブ やぶ市民交流広場 ホール	1,000
依頼公演合計					12,900

③ 文化振興事業

ア 事業方針

- ・芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ・地元アーティスト・団体の芸術文化活動を支援し、神戸文化の創造・発展に努める
- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み
- ・次世代の芸術文化の担い手や支え手の育成

イ 事業内容

(ア) 芸術文化による神戸ブランドの創造発信

神戸に根付いたジャズ文化の継承と発展を図るため、「ジャズの街神戸」推進協議会の取組を通じた総合的な推進を行う。令和8年度においては、神戸市の新たな方針のもと、次世代育成を重点方針と位置付け、神戸ユースジャズオーケストラの運営を中核に据え、若手演奏者の育成機会の充実と発表機会の創出を図るとともに、将来の担い手の裾野拡大に取り組む。

また、『神戸ジャズの日』関連事業や公式ウェブサイト「JAZZ TOWN KOBE」等を通じ、市内外に向けた戦略的なプロモーションを推進する。

さらに、神戸を代表するジャズ関連事業である「神戸ジャズストリート」や「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」等との連携・支援を通じ、神戸のジャズ文化全体の基盤強化と発信を行う。

(イ) 情報収集・提供の充実

地元のアーティストおよび文化芸術関係者を対象に、ウェブサイトから気軽に相談できる「こうべ文化芸術相談窓口」を設置し、文化芸術活動に関する各種相談（資金調達、活動拠点、広報等）に対し、専門家等と連携した情報提供および助言を行う。

(ウ) 市民参加型芸術文化事業の充実

市民による芸術文化活動の発表機会の充実を図るため、「神戸市吹奏楽祭」「洋舞コンクール」「神戸からのしらべ」「神劇まわり舞台」「シャンソン・ポピュレールコンクール」等の事業を引き続き実施する。

(エ) 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援

神戸文化の基盤を担う地元芸術文化団体の活動を引き続き支援するとともに、「ランチタイム・ワンコインコンサート」をはじめ、令和6年度に連携協定を締結した神戸芸術文化会議との協働を一層推進する。

また、「神戸市吹奏楽祭」や「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」等の取組を通じて、次代の神戸文化を担う若手人材の育成および発表機会の創出を支援し、地域文化の持続的発展に取り組む。



また、KOBE まちなかパフォーマンスの運営・推進事務局機能を担い、アーティストの活動機会の拡充および市民が身近に文化芸術・エンターテインメントに触れる機会の創出を図るとともに、神戸のまちなかのにぎわいと都市魅力の向上に寄与する。

さらに、事業の持続性の観点から運営システムの改善を検討し、アーティスト、会場管理者、事務局のすべてにとって利用しやすく効率的な運用環境の構築を目指す。

ウ 文化振興事業一覧(神戸文化ホール関連)

(単位：人)

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
神劇まわり舞台	4月～3月	市内小劇場	1,200
こうべ文化芸術相談窓口 (アーティストからの相談対応)	通年	メールまたはオンライン	—
KOBEまちなかパフォーマンス運営事務局業務	通年	神戸市内各所	—
神戸ユースジャズオーケストラの運営 (「ジャズの街神戸」推進事業)	通年	100BANホール、ジーベックホールなど	20,000
KOBEJAZZDAY2026 旧居留地コンサート (「ジャズの街神戸」推進事業)	4/5	旧居留地三井住友銀行神戸営業部前	1,200
神戸市吹奏楽祭	4/29, 11/3	神戸文化ホール大ホール	6,649
こうべ全国洋舞コンクール	5/3～5/5	神戸文化ホール大・中ホール	1,980
神戸三曲協会演奏会	6/14	神戸文化ホール中ホール	350
神戸フィルハーモニック定期演奏会	6/7, 11/29	神戸文化ホール大ホールなど	1,157
神戸ジャズ道場	中止	神戸セミナーハウス	—
兵庫県吹奏楽コンクール神戸地区大会 兵庫県小学生バンドフェスティバル	7/26～28	神戸文化ホール大・中ホール	11,896
JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8/21～23	神戸文化ホール大ホール	2,854
神戸ジャズストリート	10/10・11	北野町界限10か所程度	1,900
神戸音楽家協会・神戸からのしらべ	11/8	神戸文化ホール中ホール	450
全日本シャンソン・ポピュレールコンクール (ファイナル)	12/6	神戸文化ホール中ホール	250
神戸フィルハーモニックニューイヤーコンサート	1/10	神戸文化ホール大ホール	500
神戸三曲協会独奏会	3/28	うはらホール	200
文化振興事業合計			50,586

エ 神戸芸術文化会議連携事業一覧

(単位：人)

事業名	開催時期	公演数	開催場所	入場者数
ランチタイム・ワンコインコンサート				
番外編 こども邦楽コンサート 出演、監修：神戸三曲協会	5/30	1	神戸文化ホール 中ホール	231
第7回 出演：菊地 葉子（ピアノ）＆北浦 洋子（ヴァイオリン）とその仲間たち	7/7	1		683
第8回 出演：釈迦郡 洋介（ピアノ）、大前香菜子（ピアノ）	10/27	1		600
第9回 出演：坂本 彩（ピアノ）	1/14	1		600
神戸芸術文化会議連携事業合計			1事業4公演	2,114

④ フルートコンクール事業

ア 事業方針

- ・世界の有望な若きフルーティストを世界の楽壇に飛翔させる
- ・音楽を通じて国際交流と友好親善を図る
- ・「音楽のまち神戸」として文化の香り豊かなまちづくりを推進する

イ 事業内容

(ア) 神戸国際フルートコンクール関連事業の開催と第12回大会へ向けての準備

令和6・7年度に関連事業として実施した社会包摂事業(音楽交流プログラム)の発展企画を実施する。

令和8年度については、より文化・芸術へのアクセスが困難な方々へ音楽を届け、そして音楽を通じて交流することを目的とし、音楽療法の側面をより重視した内容とする。重度認知症の方やダウン症児へのアプローチを予定しており、音楽療法士、言語聴覚士などの専門家による音楽家への事前の指導もプログラムに取り入れる。

また、新文化ホールでの開催となる第12回大会へ向けて、運営委員会の前段階である準備委員会による会議の開催など準備も進めてゆく。



ウ 神戸国際フルートコンクール事業一覧

事業名	開催時期	回数	開催場所	入場者数
第11回神戸国際フルートコンクール第1位記念 ファビアン・ヨハネス・エッガー フルートリサイタル	10/18, 19	2	神戸文化ホール中ホール/浜離宮朝日ホール	700
ファビアン・ヨハネス・エッガー 外部出演関連 ※主催は開催地の音楽事業会社やオーケストラ、劇場等	10/24～11/2	5	高崎芸術劇場、すみだトリフォニーホール、台湾他	-
社会包摂企画 フルーティストによる音楽交流プログラム～事前講習(3講座)・現地実施(7回)	現地実施日程 9/3, 4, 16, 10/7, 11/25, 27, 1/22	7	こべっこランド(神戸市立児童福祉センター)、長田すみれ園	70
		14	事業合計	770

⑤ 情報発信

ア インターネットによる情報発信

X(エックス)やFacebook、Instagramなど多様なSNSを活用した情報発信に積極的に取り組むとともに、動画共有サイト等による事業広報を展開する。

加えて、地元アーティストおよび文化芸術関係者を対象に、ウェブサイトから気軽に相談できる「こうべ文化芸術相談窓口」について、引き続き周知および利用促進を図る。

イ 「神戸C情報」の発信

神戸を中心とした文化芸術イベント情報をウェブサイトやSNSで広く発信。相談窓口やアーティスト支援事業と連携し、文化芸術に関する情報プラットフォーム形成を目指す。

⑥ 神戸文化ホール貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ・施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ・地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ・基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

イ 事業内容

(ア) 弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、ニーズに応じた弾力的な運用を継続する。また、舞台スタッフによる専門性の高い舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営で利用者をサポートする。

(イ) 施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営

利用後のアンケート等でいただいたご意見・ご要望をもとに改善に努める。

(ウ) 地元芸術団体・若手芸術家を支援、広域からのホール利用の促進

抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続する。メールでの事前受付により遠方からの利用を促進する。

(エ) 基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

神戸市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行なう。
また、キャッシュレス決済や、ホールでのインターネット環境を整備、スマートゲートの導入により利便性の高いサービスを提供する。

(2) 新開地アートひろば

① 新開地アートひろば事業

ア 事業方針

- ・文化芸術を軸とした地域の活性化と賑わいづくり
- ・子育て世代をはじめ、幅広い世代が集う地域にひらかれた文化活動拠点の形成
- ・継続的なアーティストの育成・支援と発表機会の創出
- ・市内外文化施設・教育機関とのネットワーク強化による文化的波及効果の拡大
- ・実施事業の評価・リサーチ・研修による継続的改善と人材育成

イ 事業内容

(ア) 創造発信・地域活性化・施設活用事業

アーティストとの協働による創造的プログラムを通年で実施し、幅広い世代を対象とした鑑賞・参加型事業を展開する。

てててパークを活用した継続型ワークショップやスタッフ企画事業を実施し、日常的に人が集う文化活動拠点の形成を目指す。

事業名：「ニューあそび場の創造」「アイデアひろば」「月イチ〇〇とあそぼ！」

- ・文化芸術を軸とした地域の活性化と賑わいづくり
- ・子育て世代をはじめ、幅広い世代が集う地域にひらかれた文化活動拠点の形成
- ・継続的なアーティストの育成・支援と発表機会の創出
- ・市内外文化施設・教育機関とのネットワーク強化による文化的波及効果の拡大
- ・実施事業の評価・リサーチ・研修による継続的改善と人材育成



ニューあそび場の創造 vol. 14
「今、何かを着ているみなさんへ」



ニューあそび場の創造 vol. 17
「新開地アートブックプロジェクト 2003-2025」

(イ) アーティスト育成・支援事業

次代を担う若手芸術家を対象とした育成プログラムの実施及び、創作活動や成果発表の機会を提供する。

伴走型支援や外部専門家との連携を通じて、長期的なアーティスト支援の仕組みづくりを行う。

事業名：「Go!Go! High School Project」、「アーティストサポートプログラム」

(ウ) プログラム連携・ネットワーク構築事業

市内文化施設（KIITO、C.A.P、ファッション美術館等）との共同企画や相互連携プログラムを実施し、市内文化資源の循環と交流促進を図る。

また、教育機関との連携（トライやる・ウィーク等）を通じ、次世代育成に取り組む。

事業名：「Marching KOBE」「ミュージアムリンク」「各種提携・共催事業（未定）」

(エ) その他

神戸市及び新開地まちづくり NPO 等の地域イベントと連携・協力し、文化芸術を通じた地域活性化に寄与する。

また、当館事業から誕生した「新開地舞踊歌劇団」の活動支援を継続し、地域文化の発信力向上を図る。

事業名：「新開地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト」「新開地土曜マルシェ」
「新開地夏・冬まつり」

ウ 新開地アートひろば事業一覧

日 付	事 業 名	会 場(施設名)	入場者数 (参加者数)
7～9月	ニューあそび場の創造「夏のふしぎひろば」		
	展示・公演・ワークショップ	ホール・ギャラリー	3,500
7月・8月	Go!Go!High schoolProject2026		
	ワークショップ・発表公演	ホール・リハーサル室	200
1～2月	ニューあそび場の創造「建築と舞台芸術（仮）」		
	オープニングアクト・本公演	ホール他	500
通年	ひろばのアイデアひろば		
5月2日（土）	「ブレ企画：持ち寄りひろば」	1room他	15
	サロン・トークショー（残り6回）	1room他	185
合計			4,400

日 付	事 業 名	会 場(施設名)	入場者数 (参加者数)
	てててパーク 月イチ企画		
4月25日（土）	「お絵かきひろば」	てててパーク	41
5月23日（土）	「おやこで楽しむ木陰でひとやすみ」①	てててパーク	12
6月7日（日）	「おやこで楽しむ木陰でひとやすみ」②	てててパーク	40
毎月	ワークショップ（残り9回）	てててパーク	7
	新開地土曜マルシェ・新開地夏・冬まつり		
5月6日(土)・7日（日）	新開地夏まつり	1room他	2,227
12月	新開地夏・冬まつり	1room	
4月11日(土)	新開地土曜マルシェ	1room	499
毎月第2土曜日	新開地土曜マルシェ（残り9回）	1room	4,501
	提携・共催・協力・その他事業		
5月	新開地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト	ホール	200
6月13日（土）14日（日）	劇団エクステ #6『REBIRTH』	ホール	291
12月	Sandy	ギャラリー	200
合計			8,018
合計			12,418

② 新開地アートひろば貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応
- ・市民の芸術文化活動の促進・誘致
- ・利便性の向上と芸術文化活動への協力

イ 事業内容

(ア) 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応

「練習施設」と「発表施設」の用途に即したサポート体制を整え、利用者のニーズに応えることで、また利用したいと思える安心感・快適性を提供する。また、幼児向けスペースや1階オープンエリアでは、職員が駆け付け可能な体制の整備により、安全性の確保を行う。

(イ) 市民の芸術文化活動の促進・誘致

シルクスクリーン工房では工房専門担当者を配置し、利用者サポートができる安定した工房運営を維持するとともに、引き続き利用率向上促進を行う。また、1階スペースの賑わいを施設全体の知名度向上に結び付け、新規利用客の獲得に取り組む。

(ウ) 利便性の向上と芸術文化活動への協力

来館者向けFree Wi-Fiの提供やキャッシュレス決済の導入により、施設利用の利便性を向上させる。また、職員が1階に常駐することによる利便性の確保と、文化芸術関連の情報発信のスペースの整備により、市民の芸術文化活動の後押しと拡がりに貢献する。

(3) 各区文化センター

① 講座・地域連携事業

ア 事業方針

- ・「地域住民とともに歩む文化センター」として市民の文化活動ニーズに対応、講座事業や地域関連事業の実施
- ・子育て世代、子ども対象に参加しやすい料金設定でのイベント、講座の増加
- ・伝統文化の継承、発展に伴う事業の増加
- ・文化センター・神戸文化ホールが連携した事業を推進

イ 事業内容

(ア) 講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツなどの講座を、新規に学びたい方にも試みやすい3ヶ月単位の期間（春季・夏季・秋季・冬季）で開催する。神戸市内の他大手カルチャースクールが事業撤退・縮小していく昨今の状況下でも、着実に講座事業を継続し文化活動を楽しんでいただけるよう引き続き運営していく。

(イ) 地域連携事業

各センターの特色を生かした住民参加型の事業に取り組むとともに、書の芸術祭、こども農村歌舞伎、須磨琴等、地域の伝統文化や歴史を生かした事業を実施する。従来の伝統文化や歴史を生かした事業に加え、神戸にゆかりのある音楽家や落語家を迎えた公演等、色彩豊かな事業展開を行っていく。



〔書の芸術祭〕

(ウ) 文化ホールとの連携事業

令和7年度に10回開催を迎えた「市民の第九」において、令和8年度も引き続き、市民を対象に公募した260名の合唱団員が各文化センターでレッスンを積み、文化ホール大ホールの舞台にて成果を披露する。



〔市民の第九〕

ウ 文化センター事業一覧

(単位：人)

事業名	開催場所	回数	入場者数
文化センター共通事業	神戸文化ホール	1	1,200
各センター事業数	東灘区文化センター	13	3,790
	灘区文化センター	4	1,450
	中央区文化センター	4	400
	兵庫区文化センター	3	300
	北区文化センター	3	500
	北神区文化センター	12	2,700
	長田区文化センター	10	2,380
	須磨区文化センター	17	3,600
	北須磨文化センター	5	1,000
	垂水区文化センター	8	3,450
	西区文化センター	25	7,950
合計		105	28,720

② 演奏事業（神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団）

ア 事業方針

・各区文化センターにおける質の高い演奏の提供

イ 事業内容

神戸市室内管弦楽団による安価な料金で休憩なし 60 分以内の企画を継続する。公演後にはトークなどの交流プログラムを実施するほか、定期演奏会で取り上げないような作品、出演者の組み合わせを積極的に試み、市民に新しい音楽体験を届ける。

ウ 演奏事業実績(文化センター関連)

事業名		開催時期	公演数	開催場所	来場見込
室内	セレクション Vol.9 「ヴィヴァルディ《四季》」	9/26	1	神戸朝日ホール	450
	セレクションVol.10 「知樹vs聡 メンデルスゾーンと ベートーヴェン」	2/27, 28	1	西神中央ホール 神戸市立東灘区文化センター うはらホール	800
混声	ファミリーコンサート	4/29	1	中央区文化センター	100
	あなたに贈るコンサート	1/17	1	長田区文化センター別館 ピフレホール	400
		2/14	1	東灘区文化センター うはらホール	400
自主公演合計					2,150

③ 文化振興事業

ア 事業方針

- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み

イ 事業内容

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「シャンソン・ポピュレールコンクール（神戸大会）」、神戸芸術相談窓口関連企画等を企画していく。

市の「コベカツ」事業について、芸術文化分野での活動について引き続き協力する。

文化振興事業一覧(文化センター関連)

(単位：人)

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
こうべ文化芸術相談窓口 センター関連企画 (勉強会等)	10/28 12/10	各文化センター	50
全日本シャンソン・ポピュレールコンクール (神戸大会)	9/26	長田区文化センター別館 ピフレホール	100
神戸三曲協会独奏会	3/28	東灘区文化センター うはらホール	200
文化振興事業合計			350

④ 情報発信

チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、文化センターだよりの発行、友の会運営に取り組むとともに SNS を積極的に活用していく。

⑤ 文化センター貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供
- ・市立の貸館施設として、公的機関及び団体に研修・会合・健診等の誘致活動を実施
- ・財団が運営する定例講座とは別に、利用率の低い貸室を市民の「教えたい」ニーズ対応として講師が貸館利用で一定期間講座を開設することで、利用率改善にもつなげる
- ・多くの市有施設を一体管理する貸館システム「あじさいネット」を引き続き活用し、利用者の利便性の向上につなげていく

イ 事業内容

(ア) サービスと利便性の向上

例：休館日の祝日開館、インターネット予約受付、インターネット無料接続サービスの提供
利用料金の割引対象拡充、利用料金等のキャッシュレス決済の導入、市有施設利用申し込み一体管理システム（あじさいネット）導入など

(イ) 地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援

例：地域文化団体の利用料金割引拡充、貸館利用団体専用掲示板設置など

(ウ) 積極的な貸館セールス

例：「文化センターだより」発行、ホームページの活用
入口付近設置の大型ディスプレイによる、空室状況の掲示

収益事業

(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

神戸文化ホールにおいて、コンベンションなど文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。

※施設概要	大ホール	: 2043 席
	中ホール	: 904 席
	リハーサル室	: 150 名
	練習室 1～5	: 15 名～150 名
	多目的室・特別控室	
	自動販売機	: 7 台

(2) 新開地アートひろば貸館・管理事業

子育て世代をはじめ、幅広い人々が集う地域に開かれた施設を目指す。特に1階は、子ども向けスペースや、飲食店舗「はっちゃんの台所」など、充実したオープンスペースにより、利用者が気軽に立ち寄り、集いやすいスペースとしての運営を図ることで、来館人数と知名度の向上を目指し、収益に繋げる。

※施設概要	多目的ホール	: 232 席
	ギャラリー	: 129 m ²
	リハーサル室 1～2	: 120 m ² ～189 m ²
	会議室 1～2、シルクスクリーン工房、スタジオ 1～3、1room 等	
	てててパーク	: 88 m ²
	自動販売機	: 2 台

(3) 文化センター講座

スポーツなどの文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催。

※例 講座：健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球、水泳など
自主事業：コミュニティフェスティバル、卓球大会など

(4) 文化センター貸館・管理事業

イベントなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また自動販売機設置や駐車場等、文化センター利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール、体育施設、プール	
	会議室、多目的室	
	和室・音楽室・美術室・陶芸室等	
	自動販売機	: 33 台
	駐車場（北神区文化センター）	: 123 台

法人管理運営事業

(1) 専門性の強化・効率的な執行体制の構築

芸術文化事業についての研修等の充実を図り、職員の知識の向上及び専門性の強化など人材育成に努めるとともに、優秀な職員を固有職員として登用する。

職員研修を充実させ、職員に基礎実務研修や専門家を招聘した特別講義等を定期的に開催し、人材育成プログラムの充実を図っている。

令和3年度から、経験豊富な人材を積極的に登用し新文化ホールを見据えた演奏事業、文化ホール事業の強化を行うほか、イベント運営のノウハウ修得も目指し「神戸六甲ミーツ・アート」の事務局を担う六甲山観光株式会社への人的支援を引き続き実施する。

(2) 経営の安定化

事業部毎の独立採算・セグメント会計の観点から、経費の見直し、ICTの活用による業務の効率化などを進めるとともに、公益性の高い事業に対し国等からの外部助成金の積極的な獲得を行う。

平成30年7月に地元経済界が立ち上げた「神戸文化マザーポートクラブ」の事務局を担うことで、経済界からの芸術文化事業への支援を促進する。

(3) 次期中期経営計画の策定

令和8年度をもって現在の中期経営計画が終了するため、神戸市外郭団体経営改革方針、指定管理業務選定状況等を踏まえて策定する。

3 経営改善の取り組み

令和3年1月に策定された神戸市の「神戸市文化芸術推進ビジョン」や神戸市が提示したミッションを踏まえ、当財団においても、令和4年度から令和8年度を計画期間とする「中期経営計画2026」を策定した。

また、神戸市の「外郭団体改革方針（2026年策定）」において当財団が「重点的見直し対象団体」に指定されたことや、令和10年度開館予定の新・神戸文化ホールへの対応を見据え、「中期経営計画2026」の着実な遂行とともに、下記の経営改善を進めていく。

観点① 公益貢献

（1）幅広い市民が多様な文化芸術に触れられる機会を創出する

① 幅広い市民への文化振興

年齢や障害の有無等、様々な環境や境遇に関わらず、市民が実演芸術の公演を鑑賞できる機会を創出することで、芸術文化をコミュニケーションツールとする、幅広い市民への振興を通じて、地域社会をつなぎ、豊かにする。

② 市民の文化活動の促進

各文化センターで展開する多様な講座開設を促進し、市民の文化活動の「学ぶ」「トライする」を支えることで、市民の文化活動を「学ぶ」→「深める」→「発表する」→「鑑賞する」→「学ぶ」と循環発展を促進する。

観点② 経営改善

（1）組織全体の企画力・経営力の強化による収益構造の改善

① 人材の養成および次期指定管理業務の獲得

文化ホール、新開地アートひろば、文化センターの指定管理者として、創造発信事業などの財団の専門性の発揮や企画制作力の向上、専門人材育成等を進めることにより、「個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与するサービスの更なる向上」を図る。

指定管理料・利用料金等が見直される新・神戸文化ホール及び文化センターの次期指定管理者への選定を目指す。

② 外部資金の積極的獲得

公益目的事業とのバランスを配慮しつつ、収益事業の強化を図るとともに、継続的な助成金・寄付金等の外部資金獲得環境の構築を促進し、公益事業の更なる質の向上に努める。

③ バックオフィス業務等の合理化

バックオフィス業務等の合理化を進め、神戸の芸術文化振興に係る新たな課題や施策に対応するための、人的、財政的リソースの創出を進める。

（2）市民還元、費用対効果、民間代替性の視点を踏まえた事業の抜本的見直し

神戸市室内管弦楽団について、市民還元、費用対効果、民間代替性の視点を踏まえ、あり方を踏まえた運営見直しを検討する。

(参考)

＜中期経営計画 2026 に基づく具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）＞

【神戸からの創造・発信を行う】

KPI	令和5年度より企画・政策及び発信型事業年1演目以上実施
	他館連携型の事業の企画・実施 年1回以上
	文化センター、新開地アートひろばで行われる公演のうち、その発展性を見込んで文化ホールでの開催に移行するものの選定 年1回以上
	相談窓口利用者の発展的活動展開 利用者の70%以上

【地域社会の絆をつなぐ】

KPI	公演におけるバリアフリーへの工夫 自主事業毎に1つ以上
	社会包摂型の自主事業 年に1回以上
	多文化共生を目指す自主・共催事業等 年に1回以上
	C情報フォロー数1万人以上
	各文化センターにて地域文化活性化事業を実施 年3回以上
	講座参加者数20%増（対令和3年度比。講師主催講座含む。）

【くらしと芸術文化をつなぐ】

KPI	市民ネットモニターアンケート「過去1年間で芸術文化を鑑賞した人の割合（絵画・音楽・演劇・映画・ダンス等）80%以上
	敷居を下げた参加しやすい自主事業の企画、継続実施 年に5回以上
	異分野との連携による事業の企画・実施 年1回以上

【学ぶ、トライするを支える】

KPI	アートマネジメント人材養成事業への参加者 年100人以上
	新たな市民を呼び込む事業数 年30回以上
	講座参加者数20%増（再掲）
	市内小学生が実演芸術を経験する 小学校期間中に1回以上

【経営を安定化する】

KPI	助成金の新規申請及び獲得 毎年度新規1件以上増
	一般正味財産が必要とされる充当額を毎年度下回らない
	財政・経理に関する職員研修 毎年度1回以上
	常勤役員を除く、課長級以上の市出向職員の比率40%以下

4 令和8年度予算

(1) 事業別収支予算書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日, 単位: 千円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
公益目的事業会計	2,354,913	公益目的事業会計	2,519,608
文化振興事業収入	47,421	文化振興事業支出	49,403
演奏事業関係収入	289,530	演奏事業関係支出	295,329
フルートコンクール事業収入	19,608	フルートコンクール事業支出	24,805
文化ホール公演事業収入	119,215	文化ホール公演事業支出	133,737
文化ホール貸館・管理事業収入	284,223	文化ホール貸館・管理事業支出	347,931
新開地アートひろば公演事業収入	12,850	新開地アートひろば公演事業支出	12,850
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	145,972	新開地アートひろば貸館・管理事業支出	155,813
文化センター講座等事業収入	378,723	文化センター講座等事業支出	358,141
文化センター貸館・管理事業収入	1,012,371	文化センター貸館・管理事業支出	1,082,063
新ホール受託準備事業収入	45,000	新ホール受託準備事業支出	59,536
収益事業等会計	587,249	収益事業等会計	548,357
文化ホール貸館・管理事業収入	67,103	文化ホール貸館・管理事業支出	82,145
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	9,591	新開地アートひろば貸館・管理事業支出	8,201
文化センター講座等事業収入	181,626	文化センター講座等事業支出	170,374
文化センター貸館・管理事業収入	328,929	文化センター貸館・管理支出	287,637
法人会計	105,094	法人会計	138,687
財団管理運営事業収入	105,094	財団管理運営事業支出	138,687
当期収入合計 (A)	3,047,256	当期支出合計 (B)	3,206,652
		当期収支差額 (A) - (B)	△ 159,396

※神戸市からの収入
 (1) 補助金 341,255千円
 (2) 受託料 1,315,139千円

(2) 予定正味財産増減計算書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日, 単位: 千円)

科目	金額	
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産受取利息	335	
文化事業収益	692,238	
文化施設等運営収益	0	
文化事業受託収益	59,220	
管理受託収益	1,335,939	
施設利用料金収益	569,849	
受取補助金等	382,358	
受取寄付金	973	
受取利息	9	
雑収入	6,335	
経常収益計		3,047,256
(2) 経常費用		
事業費	3,067,965	
管理費	137,687	
経常費用計		3,205,652
当期経常増減額		△ 158,396
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計	0	0
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計		0
税引前当期一般正味財産増減額		△ 158,396
法人税、住民税及び事業税		1,000
当期一般正味財産増減額		△ 159,396
一般正味財産期首残高		58,272
一般正味財産期末残高		△ 101,124
II 指定正味財産増減の部		
(1) 基本財産運用益		
基本財産受取利息		0
(2) 一般正味財産への振替額		
一般正味財産への振替額		0
当期指定正味財産増減額		0
指定正味財産期首残高		200,000
指定正味財産期末残高		200,000
当期正味財産増減額		△ 159,396
正味財産期首残高		258,272
III 正味財産期末残高		98,876

(3) 予定貸借対照表

(令和9年3月31日現在, 単位: 千円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	3,944	未払金	317,311
預金	222,237	前受金	172,162
未収金	128,020	預り金	20,043
前払金	1,211	賞与引当金	34,122
預け金	26	流動負債合計	543,638
流動資産合計	355,438		
		2. 固定負債	
2. 固定資産		退職給付引当金	21,171
(1) 基本財産		固定負債合計	21,171
預金	518	負債合計	564,809
定期預金	6,910		
投資有価証券	209,482	III 正味財産の部	
基本財産合計	216,910	1. 指定正味財産	
(2) 特定資産		基本財産	200,000
退職給付引当資産	21,171	指定正味財産合計	200,000
特定費用準備資金	5,000		
特定資産合計	26,171	(うち基本財産への充当額)	(200,000)
(3) その他固定資産			
什器備品	516	2. 一般正味財産	△101,124
保証金	64,650	(うち基本財産への充当額)	(16,910)
その他固定資産合計	65,166	(うち特定資産への充当額)	(5,000)
固定資産合計	308,247	正味財産合計	98,876
資産合計	663,685	負債及び正味財産合計	663,685

(4) 事業別予定収入明細書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日, 単位: 千円)

科 目	収 入	内 訳							
		事業収入	事業受託収入	指定管理料等 収 入	補助金収入	助成金収入	利用料金収入	寄付金収入	その他収入
公益目的事業会計	2,354,913	510,613	14,220	1,129,760	242,840	54,724	401,783	973	0
文化振興事業収入	47,421	3,860	14,220	0	29,341	0	0	0	
演奏事業関係収入	289,530	77,377	0	0	188,602	23,551	0	0	0
フルートコンクール事業収入	19,608	6,035	0	0	9,350	3,250	0	973	0
文化ホール公演事業収入	119,215	42,977	0	47,600	14,338	14,300	0	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	284,223	0	0	120,400	0	0	163,823	0	0
新開地アートひろば公演事業収入	12,850	1,641	0	10,000	1,209	0	0	0	0
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	145,972	0	0	132,350	0	13,622	0	0	0
文化センター講座等事業収入	378,723	378,723	0	0	0	0	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	1,012,371	0	0	774,410	0	1	237,960		0
新ホール受託準備事業	45,000	0	0	45,000	0	0	0	0	0
収益事業等会計	587,249	181,626	0	251,178	0	1	154,444	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	67,103	0	0	28,426	0	0	38,677	0	0
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	9,591	0	0	8,588	0	0	1,003	0	0
文化センター講座等事業収入	181,626	181,626	0	0	0	0	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	328,929	0	0	214,164	0	1	114,764	0	0
法人会計	105,094	0	0	0	98,415	0	0	0	6,679
財団管理運営事業収入	105,094	0	0	0	98,415	0	0	0	6,679
合 計	3,047,256	692,239	14,220	1,380,938	341,255	54,725	556,227	973	6,679

(5) 事業別予定支出明細書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日, 単位: 千円)

科 目	合 計	内 訳	
		人 件 費	物 件 費
公益目的事業会計	2,519,608	405,865	2,113,743
文化振興事業支出	49,403	27,255	22,148
演奏事業関係支出	295,329	60,225	235,104
フルートコンクール事業支出	24,805	13,488	11,317
文化ホール関係支出	481,668	90,811	390,857
新開地アートひろば関係支出	168,663	61,885	106,778
文化センター関係支出	1,440,204	152,200	1,288,004
新ホール受託準備事業	59,536	0	59,536
収益事業等会計	548,357	58,988	489,369
文化ホール関係支出	82,145	11,443	70,702
新開地アートひろば関係支出	8,201	3,257	4,944
文化センター関係支出	458,011	44,288	413,723
法人会計	138,687	74,233	64,454
財団管理運営事業支出	138,687	74,233	64,454
合 計	3,206,652	539,086	2,667,566

VI 令和7年度主要事業計画・実績比較表

文化センター講座事業（講座受講者数）

施設名	受講者数（人）		
	計画	実績	増減
東灘区文化センター	3,750	4,165	415
灘区文化センター	6,000	6,509	509
中央区文化センター	180	207	27
兵庫区文化センター	4,200	4,337	137
北区文化センター	3,300	3,500	200
北神区文化センター	4,900	5,009	109
長田区文化センター	5,650	5,658	8
須磨区文化センター	2,350	2,669	319
北須磨文化センター	4,800	6,373	1,573
垂水区文化センター	5,700	5,860	160
西区文化センター	7,750	8,186	436
計	48,580	52,473	3,893

芸術文化事業

事業名		入場者数（人）		
		計画	実績	増減
文化振興事業		27,450	33,889	6,439
	音楽事業	23,750	30,348	6,598
	演劇・舞踊事業等	3,200	3,197	△ 3
	その他	500	344	△ 156
演奏事業		32,800	43,005	10,205
	室内管弦楽団公演	13,000	15,055	2,055
	混声合唱団公演	11,500	15,098	3,598
	合同公演	8,300	12,852	4,552
フルートコンクール事業		5,000	8,664	3,664
神戸文化ホール事業		27,404	27,812	408
	創造発信・情報事業	6,000	6,922	922
	普及啓発・交流事業	20,850	20,304	△ 546
	育成・支援事業	554	586	32
新開地アートひろば事業		20,000	16,457	△ 3,543
	創造発信・地域活性化・施設活用事業	12,340	8,602	△ 3,738
	アーティスト育成・支援事業	250	235	△ 15
	連携・ネットワーク・その他事業	7,410	7,620	210

施設毎入場者

（人）

施設名	計画	実績	増減
神戸文化ホール（練習室含む）	300,000	372,584	72,584
新開地アートひろば ※～R4は神戸アートビレッジセンター	165,000	217,636	52,636
文化センター	1,540,000	1,651,722	111,722

Ⅶ 主要事業の推移 (令和3年度～令和7年度)

文化センター講座事業 (講座受講者数)

施設名	受講者数 (人)					
	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
	実績	実績	実績	実績	実績	対前年比
東灘区文化センター	3,214	3,392	3,770	4,082	4,165	102.0%
灘区文化センター	5,543	5,468	6,064	6,349	6,509	102.5%
葺合文化センター	62	—	—	—	—	—
生田文化会館	64	—	—	—	—	—
中央区文化センター	—	242	229	186	207	111.3%
兵庫区文化センター	4,608	4,755	4,807	4,505	4,337	96.3%
北区文化センター	3,814	3,698	3,696	3,618	3,500	96.7%
北神区文化センター	4,417	4,872	5,015	5,249	5,009	95.4%
長田区文化センター	5,665	5,757	5,895	5,995	5,658	94.4%
須磨区文化センター	2,501	2,475	2,646	2,664	2,669	100.2%
北須磨文化センター	5,357	5,766	4,953	5,121	6,373	124.4%
垂水区文化センター	6,997	5,749	5,869	6,045	5,860	96.9%
西区民センター	7,547	7,494	8,170	8,062	8,186	101.5%
計	49,789	49,668	51,114	51,876	52,473	101.2%

芸術文化事業

事業名		入場者数 (人)					
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	対前年比
文化振興事業		10,053	17,106	30,293	30,293	33,889	111.9%
	音楽事業	9,470	13,936	26,707	26,707	30,348	113.6%
	演劇・舞踊事業等	583	2,770	2,989	2,989	3,197	107.0%
	その他	—	400	597	597	344	57.6%
演奏事業		5,856	39,120	35,947	46,471	43,005	92.5%
	室内管弦楽団公演	3,047	6,569	5,842	15,654	15,055	96.2%
	混声合唱団公演	1,773	16,257	14,645	14,533	15,098	103.9%
	合同公演	1,036	16,294	15,460	16,284	12,852	78.9%
フルートコンクール事業 ※1		—	—	—	1,237	8,664	700.4%
神戸文化ホール事業		18,862	15,525	25,675	25,675	27,812	108.3%
	創造発信・情報事業	13,189	3,960	6,054	5,606	6,922	123.5%
	普及啓発・交流事業	1,338	2,014	14,733	21,380	20,304	95.0%
	育成・支援事業	4,335	9,551	4,888	647	586	90.6%
新開地アートひろば ※2		23,134	7,505	43,616	26,614	16,457	61.8%
	創造発信・地域活性化・施設活用事業			32,190	17,139	8,602	50.2%
	アーティスト育成・支援事業			231	260	235	90.4%
	連携・ネットワーク・その他事業			11,195	9,215	7,620	82.7%

※1 フルートコンクール事業について、R4～R5年度は文化ホール事業、R3年度以前は文化振興事業として計上。

※2 R4年度までは「神戸アートビレッジセンター」として運営しており、事業が異なるため合計入場者数のみ記載。

施設毎入場者数

(人)

施設名	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
	実績	実績	実績	実績	実績	対前年比
神戸文化ホール(練習室含む)	178,600	296,132	344,787	341,415	372,584	109.1%
新開地アートひろば ※～R4は神戸アートビレッジセンター	109,098	78,933	172,578	194,449	217,636	111.9%
文化センター	1,618,372	2,042,397	1,549,534	1,581,919	1,651,722	104.4%

神戸市室内管弦楽団の運営見直しについて

1. 前報告（3月30日）からの関係事業等経過

○5月16日（土曜）

＜第172回定期演奏会「イタリア紀行」＞

入場者数：1,707人（チケット販売枚数1,456枚）

○6月6日（土曜）

＜第1回神戸市の文化芸術の未来を考えるフォーラム＞

場 所：神戸市立博物館講堂

主 催：神戸市、（公財）神戸市民文化振興財団

参加者：71人（うち一般申込30名）

【テーマ】神戸市室内管弦楽団への補助金のあり方

【ファシリテーター】松田 恵示 氏（神戸親和大学 学長）

【パネリスト】出石副局長（文化スポーツ局）藤原常務理事（神戸市民文化振興財団）

楽団員2名（バイオリン西尾恵子、オーボエ岡山理絵）

【結果まとめ（松田学長）】

- ① 公共性と公益性の問題
- ② 楽団を運営していくうえでの、「自助・共助・公助」のバランス
- ③ 検討する場の透明性をどう確保してくのか
- ④ 補助金継続に賛成・反対を問わず、「楽団として現状のままでいけない」という思いを多くの参加者が持っている
- ⑤ 継続・廃止の二元論ではなく、第三の道を模索していくという方法もある

○6月15日（月曜）

＜第92回財団理事会＞

出席理事数：10名のうち10名出席

【議論概要】

次回理事会にて専門家を招集し意見を聞いたうえで再度議論を行うこととし、全会一致で継続審議を議決した。

〔理事の主な発言〕

- ・（楽団のあり方については）それなりのスキルを持った人間が検証すべき。
- ・理事も全員が音楽専門という訳ではない。そこで、外部の専門家からも意見をもらったうえで理事会としての議論を行いたい。
- ・経営を立て直した楽団関係者や、ドライに数字をはじく会計士の様な方、先日のフォーラムでファシリテーターを務めた先生、音楽の専門家等5、6人ほどを想定。

○6月20日（土曜）

＜第173回定期演奏会「からみあう情熱」＞

入場者数：1,717人（チケット販売枚数1,574枚）

○7月31日（金曜）

＜第2回神戸市の文化芸術の未来を考えるフォーラム＞

場 所：アンカー神戸

主 催：神戸市、（公財）神戸市民文化振興財団

参加者：90人（会場64名（うち一般申込36名）、オンライン参加26名）

【テーマ】音楽分野全体への支援のあり方

【ファシリテーター】松田 恵示 氏（神戸親和大学 学長）

【パネリスト】

高次 秀明 氏（公益財団法人岡山文化芸術創造 参与）

渡辺 真二 氏（神戸商工会議所副会頭／早駒運輸株式会社代表取締役社長）

水澤 節子 氏（神戸音楽家協会 代表幹事、長田文化協議会 代表、神戸クラシック協会主宰）

佳山 奈央 氏（ラヴィベル株式会社代表取締役）

【結果まとめ（松田学長）】

- ① 文化の価値は非常に多面的。一方で、公的支援を受ける当事者には、その価値について説明責任がある。
- ② 公的支援のためには、「ここが足りない」「ここが大切」というところに対する市民のコンセンサス（合意形成）が必要不可欠。またその時の評価軸も、単に集客数といった量的側面だけではなく、どのような役割を果たしているかといった質的側面も重要。
- ③ 資金以外の支援の方法もある。資金以外の支援方法については、みんなで文化を、あるいは音楽のことを考え、ネットワークの中で改善を図る、そういった時間を担保するという、これ自体も一つの支援と言えよう。

○8月1日（土曜）

＜第174回定期演奏会「歌劇『スザンナの秘密』」＞

入場者数：1,057人（チケット販売枚数1,046枚）

○8月5日（水曜）

＜第94回財団理事会＞

出席理事数：10名のうち9名出席

【議論概要】

専門家3名の意見を聞いた後に対応について議論を行ったが、結論は得られず、次回理事会にて再度専門家（会計等）を招集し意見を聞いたうえで議論を行うこととし、全会

一致で継続審議を議決。

〔招集専門家分野〕

- ・ 公金支出事業のあり方 ・ 市民の意見（フォーラムファシリテーター）
- ・ 劇場・楽団運営 ・ 会計

〔理事の主な発言〕

- ・ 民間企業の経営感覚から、経費削減、営業強化、価値向上、ブランド向上が必要。
- ・ 神戸市の都市政策や国際交流、文化による都市の魅力向上に対して、楽団がどのように貢献できるかという視点が重要である。
- ・ 専門家意見を踏まえ、現状維持でも解散でもない方向を模索する必要があるのでは。
- ・ 主な論点として、事務局改革、補助金割合の適性化、民間協賛、市民還元事業、チケット収入や依頼公演等による収益確保、混声合唱団を含む将来課題が挙げられた。
- ・ 今後、事務局において、専門家意見及び各理事からの意見を踏まえ、神戸市室内管弦楽団の今後の方向性の候補案を作成し、次回理事会において改めて審議する。

2. 今後の予定

- ・ 次回財団理事会（9月）にて楽団の運営見直し方針について再度議論し、方向性を決定する（予定）。
- ・ 理事会で決定した方針を神戸市に提示し、今後の具体的な補助金のあり方については、令和9年度（2027年度）予算編成の中で決定予定。